

■ 平成30年度・令和元年度入学生用 カリキュラム・マップ ■

情報学部 情報科学科

(令和3年3月4日更新)

学位	学士(情報学)							ディプロマ・ポリシー(DP)																									
								1. 専門知識			2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力			4. 実践力			(中区分別の該当状況)												
								情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の理解・運用能力	異文化コミュニケーションにおける問題理解・利害・興味・文化・国を越えた人との協働・協同	情報モラル、マナー、セキュリティ	状況を認識するために必要な情報の収集	情報と知識理解を通じた状況分析・論理的推察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の導出	解決策についての説得力ある発表・文書化	解決策の実施・実現・評価	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力	3. 論理的思考力	4. 実践力									
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4																
付属情報																																	
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標																									
基礎教育科目	新入生セミナー	大学導入	選択	LAFS0301	新入生セミナー	2	演習	<p>大学では、これまでの高校時代とは異なった勉学姿勢・態度が求められます。単に知識・技術を覚えるだけでは十分ではありません。何ごとにも「なぜ?」という問いかけを自分自身に行ない、自分自身で解決すべき課題を見つけ、問題に取り組む姿勢を身につけることが目標です。そのための基礎として、「調べる」「他者の意見を聴く」「自分の意見を発表する」「文章内容を読み取る」「レポートを書く」などのアカデミックスキルズを身につけます。</p> <p>また、大学生は社会人としての見識・マナーを身につけ、良識ある社会人として行動することが求められます。さらに、大学はいろいろな個性を持った友人、教職員の人たちと広く深く触れ合う場所でもあります。この新入生セミナーは、あらゆる意味で君たちの大学での出発となる場所なのです。</p>																									
基礎教育科目	情報処理	1年次	選択	LAIP1301	情報処理	2	演習	<p>今や大学生にとって、情報機器を活用するスキルは必須のものとなっています。インターネットを使った膨大な情報へのアクセスや遠隔地とのコミュニケーション、ワープロや表計算ソフトを使った文書の作成や計算・グラフの作成、PCで作成したスライドを使つてのプレゼンテーションなど、どれもできて当然。とはいっても、実際に体験してみなければ身につかないものです。そこで本科目では、ワープロ、表計算、プレゼンテーションツール、インターネットの活用方法を実践的に学習することを目的とします。体験を重視するため、課題・宿題が比較的多くなります。意欲ある方を歓迎します。</p>																									
基礎教育科目	英語	1年次	必修	LAEG1101	英語コミュニケーション I	1	演習	<p>The course goal is for each student to develop communicative language ability. Students who successfully complete the course will be able to perform basic communicative tasks in English.</p> <p>(これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、英語のコミュニケーション能力を発展させる。英語で基本的なコミュニケーションが取れることをめざす。)</p>																									
基礎教育科目	英語	1年次	選必修	LAEG1201	英語演習 I	1	演習	リスニングとリーディングを中心に、英語の基礎的能力を充実させる。TOEIC(R Listening & Reading Test (TOEIC(R L&R) の出題形式を把握する。																									
基礎教育科目	英語	1年次	選必修	LAEG1202	基礎英語演習	1	演習	基本的な文法事項と語彙を中心に、英語の基礎的能力を充実させる。基礎的な語彙力や文法力を徹底的に訓練する。																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1301	英語コミュニケーション II	1	演習	-																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1302	英語演習 II	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語の運用能力を発展させる。																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1303	英語リーディング I	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語のリーディング能力を発展させる。中級レベルの英語の文章を理解できる力を身につけることをめざす。																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1304	英語演習 III	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語運用能力を身につけます。																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1305	英語リーディング II	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、リーディング能力をさらに発展させる。中上級レベルの英語の文章を理解できる力を身につける。																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1306	英語ディスカッション	2	演習	-																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1307	英語インテンシブ A	2	演習	-																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1308	英語海外研修 A	2	演習	アメリカ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、アメリカ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。																									
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1309	英語海外研修 B	2	演習	カナダ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、カナダ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。																									
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2301	英語ライティング I	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語のライティング能力を発展させる。比較的複雑ではない概念を表現できるライティング能力を身につけることをめざす。																									
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2302	英語ライティング II	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、英語のライティング能力をさらに発展させる。比較的複雑な概念を表現できるライティング能力を身につける。																									
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2303	英語インテンシブ B	2	演習	-																									
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2304	アカデミックイングリッシュ I	2	演習	-																									
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2305	アカデミックイングリッシュ II	2	演習	-																									
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2306	アカデミックイングリッシュ III	2	演習	This course will be an introductory survey course (conducted in English) that aims to deepen students' knowledge and understanding of important global issues affecting the world today. Specific issues that will be covered include the following: globalization, security and conflict, climate change, multiculturalism and immigration.																									
基礎教育科目	英語	3年次	選択	LAEG3301	ビジネスイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、ビジネスの場面で想定した高度な英語力を身につける。																									

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4			
基礎教育科目	初修外国語	1年次	必修	LAF1101	初修外国語入門Ⅰ	1	演習	外国語の発音、語彙、文法の基本的な知識を学習し、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力を獲得する。授業では社会と文化に関するトピックを取り上げ、異文化理解と外国語学習を融合させる。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学ぶことを念頭に教材を選び、受講生の外国語の潜在能力が十分に引き出されるように配慮する。				○	○	○										○					
基礎教育科目	初修外国語	1年次	必修	LAF1102	初修外国語入門Ⅱ	1	演習	異文化理解を前提とした外国語学習を進め、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力や語学力の向上を目指す。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学び、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、知識と能力を実用的レベルに引き上げることが目標とする。				○	○	○											○				
基礎教育科目	初修外国語	1年次	選択	LAF1301	初修外国語Ⅰ	2	演習	初修外国語入門Ⅰ・Ⅱを学習したことを前提にして、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰでは、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。				○	○	○											○				
基礎教育科目	初修外国語	1年次	選択	LAF1302	初修外国語Ⅱ	2	演習	初修外国語Ⅰまで学習を進めた学生を対象に、引き続き、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰと同様に、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。				○	○	○											○				
基礎教育科目	初修外国語	2年次	選択	LAF12305	初修外国語Ⅲ	2	演習	初級文法を一通り理解していることを前提に、これまで学習した初修外国語の基礎を確かなものとしたうえで、より総合的に各国語を学んでいくことになる。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。				○	○	○												○			
基礎教育科目	初修外国語	2年次	選択	LAF12306	初修外国語Ⅳ	2	演習	初修外国語Ⅲまでで習得した外国語の知識と能力をもとに、実践的な語学力の獲得を目標に各国語とその言語圏についてさらに学習を進める。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。				○	○	○												○			
基礎教育科目	健康体育	1年次	選択	LAPH1301	健康体育Ⅰ	1	講義・ 実技	-							○										○				
基礎教育科目	健康体育	1年次	選択	LAPH1302	健康体育Ⅱ	1	講義・ 実技	-							○											○			
基礎教育科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2301	スポーツⅠ	1	実技	-							○											○			
基礎教育科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2302	スポーツⅡ	1	実技	-							○											○			
基礎教育科目	キャリア形成科目	1年次	必修	LAOD1101	キャリアデザイン	1	講義	大学生生活3つの柱である学業・人間関係・将来のキャリアについて考えられるようになる。生活と学びの基盤となる大学と地域についての知識を増やし、自らの主体的なキャリア形成に活かせるようになる。世界や日本、地域の経済産業構造の現状について説明できるようになる。個人の生活環境、労働環境の様々な現代の問題について説明できるようになる。										○	○	○							○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1201	哲学	2	講義	私たちが「当たり前」のものとして受け入れている前提を問う哲学的な営みを学ぶことにより、批判的かつ論理的にもとごとを思考できるようになる。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1202	歴史と文化	2	講義	異なる地域、異なる時代の歴史について学ぶことにより、現在の我々をとりまく社会や環境について比較・考察するための知識や理解力を養うことを目的とする。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1203	ことばと表現	2	講義	言葉を適切に表現し正確に理解する能力を育成することにより、思考力・想像力・言語感覚を高めることができるようになる。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1204	日本国憲法	2	講義	①日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について理解できるようになる。 ②身近な問題や時事問題を憲法の観点から考えることができるようになる。 ③主権者として国家に対してどのように向き合うかを考えることができるようになる。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1205	法と社会	2	講義	①法の考え方、法的なものの方について理解する。 ②法にまつわる社会事象について理解し、考察する。 ③刑事系を中心とする法制度・法政策について理解し、考察する。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1206	経済と社会	2	講義	流通と商業、特に小売業と卸売業者の種類および流通システムに関する知識を得、それらをもとに現代社会で起きている様々な出来事に対して深い思考を巡らすことができるようになる。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1207	国際社会と日本	2	講義	国際経済事情を多角的に考察・理解し、グローバルな人材としての現代社会を見る目及び考える力を養うことを目指す。同時に今後日本が取り組むべき課題が何かについて分析し、課題解決能力を身に付ける。なお、この授業を通して、経済ニュースや経済新聞などを読む習慣を身に付けることを期待する。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1208	現代の社会	2	講義	日本の若者が直面している「移行の長期化」という問題、迷惑施設という具体的な問題など、具体的な社会問題を社会学の視点で検討することを通じて、現代社会を理解し考える力を養うこと。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1209	心理学	2	講義	私たちの生活に密着した学問である心理学の基礎的な知識を習得する。そして、それらの知識を、自らの今後の生活や研究分野にどのように生かせるのかを考えることができるようになる。							○			○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1210	地域と文化	2	講義	グローバル化が進み、多様性や複数性が顕著な文化と地域社会(コミュニティ)についての人文的知見を学習し、他者との共生を図るための視点を獲得する。							○			○		○						○	○		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1211	芸術論	2	講義	(第1〜7回)クラシック音楽の歴史や鑑賞の観点を知り、音楽の特徴を感じながら鑑賞できるようになる。自分の感じた音楽の特徴を文章にまとめることができるようになる。 (第8〜14回)舞台芸術作品であるオペラを中心に鑑賞し、それらに関する己の意見が述べられるようになる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1201	数学の世界	2	講義	高等学校で数学Ⅱは学習したが、数学Ⅲの授業を受けていない(または、数学Ⅲを受けたが落ちこぼれてしまった)学生を対象に、微分と積分の講義をします。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1202	数理の構造	2	講義	身の回りに潜む数学についての知見を深めることができるようになる。具体的には、(1)古典的な数学からの話題を通して、数理学の一面を理解できるようになる。(2)数学を専攻としない学生の素養として、数理学の考え方の一端を理解できるようになる。の何れかが達成されることを目標とする。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1203	物理の世界	2	講義	科学や物理学に興味を持ち、自分で調べる力を学ぶ。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1204	自然と物理	2	講義	物理学の基礎知識を学ぶことによって、自然の成り立ちと法則を知り、多様な現象に対して物理学的視点から考えて理解を深め、視野を広げる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1205	化学の世界	2	講義	私たちの身のまわりの様々な製品や食品を化学的な視点で捉え、化学的に説明できるようになる。また、現代に生きる人間として、必要な化学の知識を身につけ、生活の中でその知識を活用できるようにする。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1206	生活の科学	2	講義	我々が生活してゆく上で切なる化学の知識を広く身につける。分子を通して広く化学に関心を持てるようになる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1207	生命科学	2	講義	生命(植物、動物、微生物)についてミクロからマクロまで様々な視点で理解すること。生物は多様な環境の中で生育し、様々な形態をもって適応している。生物の環境への適応戦略の仕組みを知り、理解することで人文、社会、教育学への応用につなげることができるようになる。また、進歩が目まぐるしい現代生物学の基礎について、それぞれの項目を専門とする教員が簡単な言葉で授業を行うことにより、生物学の知識がほとんどない学生でも生命科学の基礎と応用を学ぶことができる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1208	生物と環境	2	講義	多様な環境に生育している生物の環境適応や適応戦略の仕組みを理解することで、様々な問題に対処するための考え方を身につける。生物の有する価値や命の営み、生態系の保全など生物に関係する情報に対する視座を自ら構築し、自らが世界の中でどのような存在であるか思いを馳せる能力を獲得する。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1209	地球科学	2	講義	現代日本の生活者として必要最小限の地球科学の最新知を身につける。地球システムが人間社会へ与える影響や、社会と自然の関わりについて理解できるようになる。我々が生きている環境がどのようなメカニズムで作られているのか、その科学的背景への興味・関心を抱ききっかけを得る。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1210	進化と地球環境	2	講義	地球環境と生物進化とについて、それぞれの概要、背景、成立原理を学び捉えて理解することを目指す。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1211	科学と技術	2	講義	科学と技術を多角的な視点で捉え、理系学生にも文系学生にも科学と技術がいかに現代社会にかかわっているかを理解し、広い視野を持てるように涵養することを目的とする。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	学際科目			LAID0000	<各科目>	1〜2	-								○		○		○				○	○			
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1101	情報学総論	2	講	「情報学」って何?情報学部ではどんなことを勉強するのか?この講義はこれらの疑問に答えることが目的である。すなわち、皆さんがこれから学んでいく「情報学」とは何かについて、4人の教員が分担して授業を展開していく。情報学の内容と範囲は幅広い。この講義によって皆さんは情報学という言葉が表す内容についてイメージすることができるようになる。また、自分がこれから大学で積極的に学ばべき内容や、将来のキャリアについて考えるための基礎知識を身につけることができる。	◎	◎	◎									○				◎		○	
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1102	コンピュータ入門	2	講	計算機一般に関する基礎概念を身につける。計算機システムの基本構成をハードウェア・ソフトウェアの両面から説明できるようになる。特に、この科目と並行して開講される「コンピュータシステム演習」で実習する計算機操作に関して、前もって理解しておくべき概念的背景を身につける。さらに、各人が購入したパーソナルコンピュータを、情報学部生としての活動に利用することができるようになる。情報学に関するいくつかの最新トピックに関する知識を身につける。	◎	△	△					○									◎		
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1103	プログラミング	3	講・演	学生が以下の力を身につけることを目標とする 1)他者のソースコードを参照できる基礎能力を身につける。 2)プログラムが意図通りに稼働しない場合、問題同定・修正ができる。 3)身近な課題を解決でき、プログラミングも活用できるという成功体験をもつ。 4)自らプログラミング言語を必要に応じて学んでいく力をつける。		○	△	△									◎	○			○		◎
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1104	コンピュータシステム演習	1	演	基本的な情報リテラシーおよびコンピュータ活用能力の教育を担うことが本科目の目的である。コンピュータ入門と連携をとり、コンピュータ入門で講義されたコンピュータの理論的な仕組みや原理を、本演習にて実際にPC上で確認することにより、受講生の理解を深めさせる。具体的には、情報学部で学習するためのPCの基本設定を自分自身で行うこと、以降の学習の基礎となるタイピングスキルを身につけること、プログラミングの前段階となる初歩的なマークアップ言語(HTML)を習得することができるようになる。											○	○		◎			○		◎
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1105	日本語表現法	2	講	情報発信およびプレゼンテーションを行う上で日本語表現法は不可欠なスキルである。本授業によって、レポート、論文等の文章作成に有効な日本語表現法に焦点を絞り、誤解のない文章を構成するスキル、論理的文章の書き方等について理解できるようになる。概説および演習を通して、文章表現上必要な論理的思考力を身につけ、事柄をわかりやすく正確かつ的確に伝える文章表現力を習得することを目指す。									△	○	○		△	◎			○		◎
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1106	学習マネジメント	2	演	この授業は学び方を学ぶ授業です。自分の学習スタイルを診断し、学習方略を最適化する考え方を理解することで、自分を取り巻く学習環境を自らうまくデザインし、マネージする力を身につけます。											△	○	◎				◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1107	コミュニケーションスキルズⅠ	1	演	In this class, students will improve their communication accuracy and be able to respond to simple questions in English. They will be able to express their opinions about simple topics. They will be able to ask clarification questions and request repetitions when input is not understood. They will learn to continue a discussion.					◎		○							○		◎		○	
専門科目	学部共通科目	2年次	必修	INCM2101	情報倫理と法	2	講	現代社会においては、情報の生産・流通・利活用を規律する法律・政策のメカニズムを理解し、特に知的財産、通信と放送、表現活動等に関する法制度と情報倫理の基礎を身につける。								◎			○					◎		○	
専門科目	学部共通科目	2年次	必修	INCM2102	情報学方法論	1	講	この授業は各学科ごとに企画・運営される。それぞれの専門領域における情報学のスコープのもと、多様な研究方法や研究テーマ、課題等について紹介・入門的な講義を行うことを通じて、3年次以降のより専門的な学習・研究へとつなげていくことができるようになる。	◎									○	○	○			◎		○		
専門科目	学部共通科目	3年次	選択	INCM3304	情報学特別講義Ⅰ	2	講	「情報学特別講義Ⅰ」は、情報学部において開設されるさまざまな科目のうち、学部共通科目として、世の中の実践的な事例をとおして、情報学そのものについての学習を深めるための科目である。「情報学特別講義Ⅰ」では、企業、行政、メディアなど、特に地域情報化の現場で活躍している方を講師として招き、最新の状況や現場で生じている課題等について知ることができる。受講生はこれらの講義を通じ、情報社会の課題を知り、それに応えるためには何が必要かを考えるとともに、今後どのような形で情報学を深めていくべきか理解を深めることができる。								△			△	○	◎	○			○	◎	○
専門科目	学部共通科目	3年次	選択	INCM3305	情報学特別講義Ⅱ	2	講	情報システム利用の先進的事例や情報システムの企画・開発・運用に永年携わってきた方々の経験談などを通じて、情報学部において展開されている理論的な観点からの理解に対し、実践的な観点をすることを目的としている。					◎								○	○		◎		○	○
専門科目	学部共通科目	4年次	選択	INCM4301	情報学特別講義Ⅲ	2	講	計算機科学の分野における先進的な研究・開発の具体的な事例紹介を通じ、情報学部で学ぶ授業の総括をはかり、大学で学んだことが社会でどのように生かされているかを知る。	◎										○	○				◎		○	
専門科目	英語科目	1年次	選択	INEL1301	リーディングスキルズⅠ	1	演	基礎的な語彙・文法力を身につけ、平易な英文のトピック、パラグラフ展開、書き手の主旨を正確に把握でき、かつ、構文を正しく理解する読解力を身につける。						◎											◎		
専門科目	英語科目	1年次	選択	INEL1302	ライティングスキルズⅠ	1	演	短文の和文英訳を基礎とした基本構文の理解から始め、トピックセンテンス、支持文、結論、トピックの一貫性など、パラグラフ構成の基本事項を身につけた上で、関心を抱く話題や日常的な話題についての意見などを1パラグラフにまとめるライティングスキルズを身につける。				○		◎										○	◎		
専門科目	英語科目	2年次	選択	INEL2301	コミュニケーションスキルズⅡ	1	演	In this class, students will improve their communication accuracy and be able to respond to various questions in English. They will be able to express their opinions about many topics. They will be able to ask clarification questions and request repetitions when input is not understood. They will learn to continue a discussion.						◎		○							○		◎		○
専門科目	英語科目	2年次	選択	INEL2302	リーディングスキルズⅡ	1	演	長文を正確かつ効率的に読むための英語力と技法（パラグラフリーディング）を身につける。アカデミックな文章の基本構造を理解し、その構造の中で各文や段落がどのような役割を担っているか考えながら、必要な情報を的確に収集する習慣をつける。						◎											◎		
専門科目	英語科目	2年次	選択	INEL2303	ライティングスキルズⅡ	1	演	英文を書く上で重要な文法事項を学習し、正確な英文を書く力を身につける。また、パラグラフライティングに関わる文間、段落間のつながりに関する談話の文法を学習し、英語の文章を書く力を身につける。						◎											◎		
専門科目	英語科目	3年次	選択	INEL3301	リーディングスキルズⅢ	1	演	長文を正確かつ効率的に読むための読解力と技法（パラグラフリーディング）を身につける。アカデミックな文章（あるいは、社会現象や自然現象を理論的・実証的に論じる長文全般）で頻繁に用いられるパラグラフのパターンを理解することにより、各パラグラフの要旨を素早く正確に読み取る力を身につける。				○	◎							○					◎		○
専門科目	英語科目	3年次	選択	INEL3302	コミュニケーションスキルズⅢ	1	演	この授業は以下の項目を身につける。(1)各自で選択したアカデミックなトピックについて、内容のあるプレゼンテーションを行うことができるようになる。(2)時事的なトピックおよびアカデミックなトピックについて、知識に裏付けられた意見を述べ、よく考えたうえでの質問をすることができるようになる。(3)英語で行われるアカデミックな講義を聞き、理解し、それについてディスカッションをすることができるようになる。						◎		○									◎		
専門科目	英語科目	3年次	選択	INEL3303	ライティングスキルズⅢ-1	1	演	序論、本論、結論の構成を持ち、説得力のある英語の文章を書き、自分の英文をみずから点検できるようになる。						◎											◎		
専門科目	英語科目	4年次	選択	INEL4301	ライティングスキルズⅢ-2	1	演	序論、本論、結論の構成を持ち、説得力のある英語の文章を書き、自分の英文をみずから点検できるようになる。						◎											◎		
専門科目	英語科目	4年次	選択	INEL4302	ライティングスキルズⅢ-3	1	演	序論、本論、結論の構成を持ち、説得力のある英語の文章を書き、自分の英文をみずから点検できるようになる。						◎											◎		
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1101	微分積分学Ⅰ	2	講	微分積分学ⅠⅡを通じ、極限、微分法、積分法、偏微分法、重積分、微分方程式などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎	○			○		◎		
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1102	線形代数学Ⅰ	2	講	線形代数学ⅠⅡを通じ、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎	○			○		◎		
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1103	線形代数学Ⅱ	2	講	線形代数学ⅠⅡを通じ、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎	○			○		◎		
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1104	情報数学	2	講	確率論の基本概念を学ぶことにより、これ以降の数理系科目を学ぶための基礎を身につける。確率的側面を伴う事象についての情報の分析能力・論理的思考能力・理解力・表現力・問題解決能力を身につける。	◎															◎			
専門科目	情報科学科	1年次	選必	INIC1201	微分積分学Ⅱ	2	講	微分積分学ⅠⅡを通じ、極限、微分法、積分法、偏微分法、重積分、微分方程式などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎	○			○		◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報科学科	1年次	選択	INIC1301	統計学入門	2	講	統計理論に基づくデータ解析は、農学・工学・理学等の理系の分野はもとより、心理学・経済学・社会学等の文科系の分野でも予測、評価、管理等の目的で広く利用されている。本講義の目的はデータ解析の場面で利用される基本的な統計的手法についての知識・技能を身につけることである。講義では、得られたデータを解析・整理・要約するための記述統計学、その解析結果から母集団における状況を推測するための推測統計学について、その基礎的内容を具体例に基づいて解説する。なお、パソコン(R、エクセル)を利用した簡単な演習も行う。			○							◎					○		◎		
専門科目	情報科学科	1年次	選択	INIC1302	認知科学	2	講	人間の記憶や思考、問題解決といった「心のはたらき」を達成する能力に着目し、なぜ人間は高度な知性を身につけ、どのようなプロセスでそれを実践しているのかを自己の体験や簡単な実験を通して理解する。さらに人間の「心のはたらき」をコンピュータによってシミュレートする方法とその科学的妥当性についても学ぶ。これからの学習を通して、人間の認知能力に対する理解と関心を得ると共に、情報科学と人間の認知能力の接点と融合点を発見する力を養う。	◎	△	△					△		○	△	○	△	△	◎		○	○	
専門科目	情報科学科	1年次	選択	INIC1303	情報と心理	2	講	・情報システムと人間心理をつなぐ基礎的な知識を身につける ・情報学の諸分野(情報技術、行動情報、情報社会)を人間心理からとらえる観点を取得する	◎	◎	◎							○	○				◎		○		
専門科目	情報科学科	1年次	選択	INIC1304	エレクトロニクス入門	2	講	情報学と深い関わりのあるエレクトロニクスの基礎となる物理学の基礎を身につける。	◎									○					◎		○		
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2101	離散数学	2	講	集合論、代数学、グラフ理論についての基礎事項を身に付け、使いこなせるようになる。	◎											○			◎		○		
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2102	情報理論	2	講	情報量、エントロピー、情報源符号化定理、通信路符号化定理などの概念を理解し、情報理論の基礎を身につけ、理論を応用できるようになる。これにより、情報の分析能力および論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基礎を形成することができる。「情報」を数量として扱うエントロピーを学び、シャノンが導いた「情報源符号化定理」、「通信路符号化定理」などを習得することができる。		◎											○		◎			○	
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2103	数理論理	2	講	命題論理と述語論理の意味論と証明論の基礎を身に付け、また、使いこなせるようになる。	◎												○		◎			○	
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2104	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ-CS	2	講	スタック、キュー、リスト、木、探索と整列、計算量などの概念を講義するとともに、講義に即したプログラミング演習を併設することによりプログラミング能力を養成する。これにより、学生は、情報システムの開発・設計・分析に必要な基礎知識と、それを活用するプログラミング基礎能力を身につける。	○									○	△		◎	△	○			◎	
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2105	論理回路	2	講	論理数学ならびに組合せ回路や順序回路の論理設計の基礎について体系的に学習し、論理回路や計算機ハードウェアに関する知識を習得する。	○										◎				○		◎	○	
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2106	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2	講	より巧妙に設計されたアルゴリズムやデータ構造を上手に用いることで、同じ目的に対するものであっても、データの処理効率に大きな違いが出ることを理解できるようになる。 ○ 言語を用いて高速に動作するプログラムを作成できるスキルを身につけるとともに、言語仕様の違いからくるプログラミングの難しさやその挙動の把握の把握の難しさについて、理解できるようにする。 アルゴリズムやデータ構造の性質の違いを具体的に議論し、その理論体系とその重要性を深く理解することができるようになる。 後続の科目の履修に必要な、ソフトウェアの設計、およびプログラミングスキルを身につける。	○										○	◎						◎	
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2107	プログラミング方法論	2	講	分析、設計、プログラム開発、テストの各工程の役割、オブジェクト指向などの概念の講義を通じ、検査・変更・拡張が容易なプログラムを作成する方法論を教授することにより、大規模かつ良質なプログラムの作成法を身につける。これにより、受講者はソフトウェアおよびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力を身につけることができる。	◎														◎		○		
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2108	コンピュータ設計Ⅰ	2	講	コンピュータの構造、命令形式、アドレッシング、サブルーチン、割り込み、パイプラインアーキテクチャなどの概念を身につける。また、ソフトウェア側から見たCPUの構造と機能が説明できるようになる。	◎														◎		○		
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2109	オートマトンと計算理論	2	講	計算機構の数学的モデルであるオートマトン、プログラミング言語や自然言語の数学的モデルである形式言語についての基礎を身に付ける。また、計算可能性・複雑さの理論についても基礎的な事項を理解する。	◎												○			◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2110	コンピュータネットワーク	2	講	コンピュータネットワークに関する体系的な知識と実践的な技術の両者を習得し、IPネットワークの設計・構築及び分析ができるようになる。	◎										○	○				◎		○	
専門科目	情報科学科	2年次	選必	INIC2201	情報代数及び符号理論	2	講	本科目は数学系科目、数理系科目に属し、情報理論とあわせて、情報源と通信路における符号化理論を身につける。符号化には情報代数に基づくアプローチとエントロピーに基づくアプローチが存在する。主に前者を本科目で、後者を情報理論で講義する。	◎												○			◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	選必	INIC2202	データベースシステム論	2	講	大規模なデータを管理するために生まれ、今も発展しつづけている「データベースシステム」を最新のトピックも交えつつ学ぶ。データベースの理論を理解し身につけるとともに、実践的な技術を習得する。	◎										○				◎		○	○	
専門科目	情報科学科	2年次	選必	INIC2203	デジタル信号処理	2	講	コンピュータで取り扱う数値データの並びは全てデジタル信号と言える。デジタル信号処理はその分析・加工・変形などのための基礎技術である。計測・制御の基礎理論から、それらの応用について理解する。	○										△	◎		○		○		◎	○
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2301	問題分析とモデリング	2	講	社会や組織での様々な活動を支援する情報システムを設計・開発するための問題分析とモデリング技法に関する知識・技能を身につける。問題分析とモデリングができるようになる。	○										○	◎			○		◎		
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2302	応用数学	2	講	高速Fourier変換を理解するために必要となる数学知識を身につける。	◎															◎			
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2303	創造的プログラミング	2	演	プログラミングの学習に意欲を持つ学生に、最先端のプログラミング技術を議論する場所を提供し、自主的・創造的なプロジェクトを推進することでプログラミングに対する意欲をさらに高め、スキルを磨くことができる。																		○	◎

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2304	多変量データ解析	2	講	各個体や対象に対して、複数の特性について観測されたデータに基づき、各変数間の相互関連性を分析するための手法は多変量解析手法とよばれる。多変量解析法はあらゆる分野で広く用いられている手法で、本講義はその入門と位置づけられる。統計学的理論と実データへの適用例との両側面から各手法を解説し、演習を多く取り入れることで、多変量解析法の基本的な考え方と実践の技能を身につける。	○	○								◎					○		◎		
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2305	先端情報学実習Ⅰ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎				○	◎	
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2306	先端情報学実習Ⅰ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎				○	◎	
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3101	情報科学実験Ⅰ	2	実	コンピュータネットワーク、ネットワークプログラミング、オペレーティングシステム、データベースシステム論等で習得した知識と技術を応用し、実際に多層構造のWebシステムを構築することでシステム開発の側面からの各種ボトルネック要因等の理解を促し、対応できるようにする。	◎									○				○	◎		○	○	
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3102	コンピュータ設計Ⅱ	2	講	コンピュータの構造、命令形式、アドレッシング、割り込みなどの概念を理解し、各種ビルディングブロックの詳細設計に関して学習することにより、ハードウェア側から見たCPUの構造と機能を修得する。	◎														◎				
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3103	言語理論	2	講	コンパイラのような応用を意識して言語理論の基本的考え方を理解できるようにする。また、言語理論に裏付けられた言語処理アルゴリズムについて理解できるようにする。その中で、計算可能な言語クラスを設定して有用なソフトウェアを提案するという工学的アプローチを理解できるようにする。また、言語の変換系としてコンパイラを捉え、文法解析プログラム、構文解析プログラム、およびコード生成の基本的な考え方を理解できるようにする。	◎										○			○		◎		○	○
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3104	機械語と計算機械	2	演	コンピュータ設計の演習科目として機械語命令の実習を行う。これを通して、チューリングマシンとしてのコンピュータの動作原理を理解し、説明できるようにする。	○										○				○	◎		○	◎
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3105	オペレーティングシステム	2	講	計算機システムにおいて、オペレーティングシステム(OS)は欠くことのできない重要なソフトウェアである。オペレーティングシステムの役割に関して、プロセス管理、メモリ管理、ファイルシステムなどの仕組みを理解できるようにする。これにより、コンピュータの原理およびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成できる基本的なテクノロジーを理解し、様々なシステムの開発へ活用できるようにする。	◎										○	○				◎		○	○
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3106	情報科学実験Ⅱ	2	実	システムプログラムとしてコンパイラやオペレーティングシステムを取り上げる。その機能の全部または一部を実装することによって、CPUの機能及び構造をソフトウェアの側面から理解するとともに、システムプログラムの開発を通して実践的なプログラミング能力を身につける。											○	○			○	◎		○	◎
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3107	情報科学実験Ⅲ	2	実	論理回路、四則演算機、SEPプロセッサの設計・実装を通して、ハードウェアの仕組みを理解できるようにする。これにより実験方法、実験データの記録やその取扱い方法、実験レポートの書き方、チームワーク等と実践的なスキルを身につける。											○	◎			○		○	◎	○
専門科目	情報科学科	3年次	選必	INIC3201	人工知能	2	講	人工知能(AI: Artificial Intelligence)という言葉が表す学問分野は幅広い。ここでは黎明期から現在に至るAIの全体像を学び、機械学習をはじめとするAI関連技術についての基礎的な知識を身につける。	◎												○		○	◎			○
専門科目	情報科学科	3年次	選必	INIC3202	ネットワークプログラミング	2	演	計算機ネットワークの基礎事項を実装レベルで再確認し、サーバサイド・クライアントサイドの両者において通信を行う基本的なアプリケーションの設計・開発ができるようになる。	◎										○				◎		○	○	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3301	記号処理	2	講	人工知能システム、知識処理システムを構築する際に必要となる記号処理プログラミングの方法を身につける。記号処理の必要性について説明できるようにする。代表的な記号処理用言語であるLISP・Prologを用いて基礎的な文法から具体的なプログラミング技法までを身につける。最終的に、小規模な知識システムとしてのプログラミングができるようになる。	○	○											◎		○	○			◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3302	意思決定論	2	講	企業経営のマネジメントで典型的な意思決定問題を取り上げ、その理論と手法について理解する。															◎		○	○	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3303	パターン認識	2	講	パターン認識とは、観測されたパターンをそれが属すべき概念のうちの一つに分類する処理のことである。本科目では、パターンの入力から識別しているまでの一連の処理過程を習得することにより、パターン認識における基本的な概念や技術を身につける。	◎											○				◎			
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3304	システム要求分析設計	2	講	構造化分析、構造化設計、オブジェクト指向分析・設計、CASEツールなどの講義を通じ、要求分析、仕様作成(形式的仕様記述)、システム設計、モデリング、検証などの諸概念を理解する。これにより、情報システムの開発・設計・分析能力を身につける。	○	○									○	◎				○		◎	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3305	人間情報活用論	2	講	人間の知覚、賢さを、個体とその環境との相互作用(インタラクション)の中に位置づけられた存在という観点から考察し、次世代の情報科学の基盤となる人間がもつ認知能力と人工知能技術を応用した知的システムあるいは人間同士のコラボレーション関係の構築のための指針を得ることを通じて、人間の能力と知的システムとが協調した高水準なパフォーマンスを引き出すための基礎知識およびスキルを修得する。	◎	○	△				△	△					○	△	△	◎	○	○	○
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3306	情報セキュリティ	2	講	情報セキュリティを、技術的側面(暗号をはじめとするセキュリティ要素技術)と人間的側面(情報倫理や情報法という広義の情報モラル)の両側面から理解する。	◎		◎						○							◎		○	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3307	プロジェクトマネジメント	2	講	目標や課題解決のためのプロジェクト立案方法、スコープ、スケジュール、コストを考慮したプロジェクト計画策定方法、プロジェクト実施時の進捗や品質に関するマネジメントの方法について、講義と演習を併用して身につける。																	○	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3308	先端情報学実習Ⅱ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。											○	◎		○			○	◎	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3309	情報科学演習	1	演	卒業研究準備のための演習を実施し、文献調査方法、英語論文読解能力、プレゼンテーション技法、等を身につける。					△					◎	○			○				◎	○
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3310	シミュレーション	2	講	情報系及び物理系のシミュレーションの基礎を学び、モデル化、シミュレーション手法、計算資源の最適配分、シミュレーションの実際などシミュレーションをするための専門的知識を身につける。										○			◎					○	◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3311	ヒューマンインタフェース及び演習	2	講・演	人間にとって望ましいヒューマンインタフェースを実現するための技術と実装方法を理解できるようにする。日進月歩の情報通信技術、ヒューマンサイエンス、システムデザインが融合的に関わっており、人間と機器システムとの界面としてのインタフェースに加えて、ハードとソフトを融合した価値の創出を対象とする。人間という観点で情報技術を考える本講義と実践的演出を通して、ヒューマンインタフェース設計の多面的な力を身につける。											◎	○			○			◎	○
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3312	先端情報学実習Ⅱ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎				○	◎	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3313	インターンシップ-A	2	実	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀・約束・コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない。採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。														◎					◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3314	インターンシップ-B	1	実	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀・約束・コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない。採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。													◎		○				◎
専門科目	情報科学科	4年次	必修	INIC4101	卒業研究	6	演	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身につける。	△										△	△	△	○	◎	○			◎
専門科目	情報科学科	4年次	必修	INIC4102	ABP 卒業研究	3	演	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身につける。	△										△	△	△	○	◎	○			◎
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4301	ソフトウェア品質管理	2	講	プロジェクトのリスク管理戦略の一環として効果的にテストを実施する方法(リスク分析、テスト計画、分析と設計、実行)について、具体的な事例を通して理解する。品質の定義と測定・改善の方法について理解する。この授業の前半ではソフトウェアテストの各種技法を学ぶ。その後、具体的なテスト対象プログラムに対して、テスト計画を立て、各種テストを実施し、テストレポートを作成する演習を行なって身につける。	◎	○										○			◎			○	
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4302	機械学習	2	講	・サポートベクターマシン、隠れマルコフモデル、深層学習、強化学習などの機械学習の主要な手法について学ぶ。 ・考えられたタスクを実行するためのモデルを経験(データ)から学習する機械学習の基礎を理解し、さまざまな問題に適用する力を身につける。 ・強化学習の対象とする問題と、解放のアイデア、特にTabular Solution Methodに位置づけられる方法を理解できるようになる。	◎												○	○		◎		○	○
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4303	データマイニング	2	講	現在の情報社会におけるWeb・ソーシャルメディア・ICカード等の普及により、膨大で多様なデータが時々刻々と生み出されている。そのようなデータはビッグデータと総称される。本講座では様々な分野のデータ分析事例を通じて、データマイニングに関連した技術を学ぶ。	◎												○		○	◎		○	○
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4304	先端情報学実習Ⅲ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎					○	◎
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4305	社会モデル	2	講	社会や経済を分析するためにさまざまなモデルが使われていることを知り、それらのモデルの意味を理解、活用できるようにする。											○	◎	○					◎	
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4306	組織マネジメント	2	講	組織のマネジメント、プロジェクトベースの人事配置等に関する基礎的な理論について理解できるようになる。				○							○	◎	○		△	○		◎	○
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4307	先端情報学実習Ⅲ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎					○	◎

■ 平成30年度・令和元年度入学生用 カリキュラム・マップ ■

情報学部 行動情報学科

(令和3年3月4日更新)

学位	学士(情報学)		ディプロマ・ポリシー(DP)																										
			1. 専門知識			2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力			4. 実践力																
付属情報	情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の理解・運用能力	異文化コミュニケーションにおける問題理解	利害、興味、文化、国を越えた人との協働・協力	情報取扱いのモラル、マナー、セキュリティ	状況を認識するために必要な情報の収集	情報と知識理解を通じた状況分析・論理的考察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の導出	解決策についての説得力ある発表・文書化	解決策の実施・実現・評価	(中区分別の該当状況)														
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4			
基礎教育科目	新入生セミナー	大学導入	選択	LAFS0301	新入生セミナー	2	演習	大学では、これまでの高校時代とは異なった勉学姿勢・態度が求められます。単に知識・技術を覚えるだけでは十分ではありません。何ごとにも「なぜ?」という問いかけを自分自身に行ない、自分自身で解決すべき課題を見つけ、問題に取り組み姿勢を身につけることが目標です。そのための基礎として、「調べる」「他者の意見を聞く」「自分の意見を発表する」「文章内容を読み取る」「レポートを書く」などのアカデミックスキルズを身につけます。また、大学生は社会人としての見識・マナーを身につけ、良識ある社会人として行動することが求められます。さらに、大学はいろいろな個性を持った友人、教職員の人たちと広く深く触れ合う場所でもあります。この新入生セミナーは、あらゆる意味で君たちの大学での出発となる場所なのです。																					
基礎教育科目	情報処理	1年次	選択	LAIP1301	情報処理	2	演習	今や大学生にとって、情報機器を活用するスキルは必須のものとなっています。インターネットを使った膨大な情報へのアクセスや遠隔地とのコミュニケーション、ワープロや表計算ソフトを使った文書の作成や計算・グラフの作成、PCで作成したスライドを使っているプレゼンテーションなど、どれもできて当然。とはいっても、実際に体験してみなければ身につかないものです。そこで本科目では、ワープロ、表計算、プレゼンテーションツール、インターネットの活用方法を実践的に学習することを目的とします。体験を重視するため、課題・宿題が比較的多くなります。意欲ある方を歓迎します。											○	○									
基礎教育科目	英語	1年次	必修	LAEG1101	英語コミュニケーション I	1	演習	The course goal is for each student to develop communicative language ability. Students who successfully complete the course will be able to perform basic communicative tasks in English. (これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、英語のコミュニケーション能力を発展させる。英語で基本的なコミュニケーションが取れることをめざす。)					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選必	LAEG1201	英語演習 I	1	演習	リスニングとリーディングを中心に、英語の基礎的能力を充実させる。 TOEIC(R Listening & Reading Test (TOEIC(R L&R) の出題形式を把握する。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選必	LAEG1202	基礎英語演習	1	演習	基本的な文法事項と語彙を中心に、英語の基礎的能力を充実させる。 基礎的な語彙力や文法力を徹底的に訓練する。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1301	英語コミュニケーション II	1	演習	-					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1302	英語演習 II	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語の運用能力を発展させる。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1303	英語リーディング I	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語のリーディング能力を発展させる。中級レベルの英語の文章を理解できる力を身につけることをめざす。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1304	英語演習 III	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語運用能力を身につけます。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1305	英語リーディング II	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、リーディング能力をさらに発展させる。中上級レベルの英語の文章を理解できる力を身につける。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1306	英語ディスカッション	2	演習	-					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1307	英語インテンシブA	2	演習	-					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1308	英語海外研修A	2	演習	アメリカ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、アメリカ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1309	英語海外研修B	2	演習	カナダ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、カナダ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2301	英語ライティング I	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語のライティング能力を発展させる。比較的複雑ではない概念を表現できるライティング能力を身につけることをめざす。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2302	英語ライティング II	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、英語のライティング能力をさらに発展させる。比較的複雑な概念を表現できるライティング能力を身につける。					○	○	○														
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2303	英語インテンシブB	2	演習	-					○	○	○														
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2304	アカデミックイングリッシュ I	2	演習	-					○	○	○														
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2305	アカデミックイングリッシュ II	2	演習	-					○	○	○														
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2306	アカデミックイングリッシュ III	2	演習	This course will be an introductory survey course (conducted in English) that aims to deepen students' knowledge and understanding of important global issues affecting the world today. Specific issues that will be covered include the following: globalization, security and conflict, climate change, multiculturalism and immigration.					○	○	○														
基礎教育科目	英語	3年次	選択	LAEG3301	ビジネスイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、ビジネスの場面を想定した高度な英語力を身につける。					○	○	○														

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4				
基礎教育科目	初修外国語	1年次	必修	LAF1101	初修外国語入門Ⅰ	1	演習	外国語の発音、語彙、文法の基本的な知識を学習し、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力を獲得する。授業では社会と文化に関するトピックを取り上げ、異文化理解と外国語学習を融合させる。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学ぶことを念頭に教材を選び、受講生の外国語の潜在能力が十分に引き出されるように配慮する。					○	○	○										○					
基礎教育科目	初修外国語	1年次	必修	LAF1102	初修外国語入門Ⅱ	1	演習	異文化理解を前提とした外国語学習を進め、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力や語学力の向上を目指す。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学び、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、知識と能力を実用的レベルに引き上げることが目標とする。					○	○	○											○				
基礎教育科目	初修外国語	1年次	選択	LAF1301	初修外国語Ⅰ	2	演習	初修外国語入門Ⅰ・Ⅱを学習したことを前提にして、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰでは、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。					○	○	○											○				
基礎教育科目	初修外国語	1年次	選択	LAF1302	初修外国語Ⅱ	2	演習	初修外国語Ⅰまで学習を進めた学生を対象に、引き続き、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰと同様に、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。					○	○	○											○				
基礎教育科目	初修外国語	2年次	選択	LAF12305	初修外国語Ⅲ	2	演習	初級文法を一通り理解していることを前提に、これまで学習した初修外国語の基礎を確かなものとし、より総合的に各国語を学んでいくことになる。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。					○	○	○												○			
基礎教育科目	初修外国語	2年次	選択	LAF12306	初修外国語Ⅳ	2	演習	初修外国語Ⅲまでで習得した外国語の知識と能力をもとに、実践的な語学力の獲得を目標に各国語とその言語圏についてさらに学習を進める。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。					○	○	○												○			
基礎教育科目	健康体育	1年次	選択	LAPH1301	健康体育Ⅰ	1	講義・ 実技	-							○											○				
基礎教育科目	健康体育	1年次	選択	LAPH1302	健康体育Ⅱ	1	講義・ 実技	-							○												○			
基礎教育科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2301	スポーツⅠ	1	実技	-							○												○			
基礎教育科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2302	スポーツⅡ	1	実技	-							○													○		
基礎教育科目	キャリア形成科目	1年次	必修	LACD1101	キャリアデザイン	1	講義	大学生生活3つの柱である学業・人間関係・将来のキャリアについて考えられるようになる。生活と学びの基盤となる大学と地域についての知識を増やし、自らの主体的なキャリア形成に活かせるようになる。世界や日本、地域の経済産業構造の現状について説明できるようになる。個人の生活環境、労働環境の様々な現代の問題について説明できるようになる。										○	○	○								○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1201	哲学	2	講義	私たちが「当たり前」のものとして受け入れている前提を問う哲学的な営みを学ぶことにより、批判的かつ論理的にもとごとを思考できるようになる。										○		○							○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1202	歴史と文化	2	講義	異なる地域、異なる時代の歴史について学ぶことにより、現在の我々をとりまく社会や環境について比較・考察するための知識や理解力を養うことを目的とする。								○		○		○							○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1203	ことばと表現	2	講義	言葉を適切に表現し正確に理解する能力を育成することにより、思考力・想像力・言語感覚を高めることができるようになる。								○		○		○							○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1204	日本国憲法	2	講義	①日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について理解できるようになる。 ②身近な問題や時事問題を憲法の観点から考えることができるようになる。 ③主権者として国家に対してどのように向き合うかを考えることができるようになる。								○		○		○							○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1205	法と社会	2	講義	①法の考え方、法的なものの方角について理解する。 ②法にまつわる社会事象について理解し、考察する。 ③刑事系を中心とする法制度・法政策について理解し、考察する。								○		○		○								○	○	
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1206	経済と社会	2	講義	流通と商業、特に小売業と卸売業者の種類および流通システムに関する知識を得、それらをもとに現代社会で起きている様々な出来事に対して深い思考を巡らすことができるようになる。										○		○							○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1207	国際社会と日本	2	講義	国際経済事情を多角的に考察・理解し、グローバルな人材としての現代社会を見る目及び考える力を養うことを目指す。同時に今後日本が取り組むべき課題が何かについて分析し、課題解決能力を身に付ける。なお、この授業を通して、経済ニュースや経済新聞などを読む習慣を身に付けることを期待する。								○		○		○								○	○	
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1208	現代の社会	2	講義	日本の若者が直面している「移行の長期化」という問題、迷惑施設という具体的な問題など、具体的な社会問題を社会学の視点で検討することを通じて、現代社会を理解し考える力を養うこと。								○		○		○								○	○	
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1209	心理学	2	講義	私たちの生活に密着した学問である心理学の基礎的な知識を習得する。そして、それらの知識を、自らの今後の生活や研究分野にどのように生かせるのかを考えることができるようになる。								○		○		○								○	○	
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1210	地域と文化	2	講義	グローバル化が進み、多様性や複数性が顕著な文化と地域社会(コミュニティ)についての人文的知見を学習し、他者との共生を図るための視点を獲得する。								○		○		○								○	○	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1211	芸術論	2	講義	(第1〜7回)クラシック音楽の歴史や鑑賞の観点を知り、音楽の特徴を感じながら鑑賞できるようになる。自分の感じた音楽の特徴を文章にまとめることができるようになる。 (第8〜14回)舞台芸術作品であるオペラを中心に鑑賞し、それらに関する己の意見が述べられるようになる。							○		○		○					○	○			
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1201	数学の世界	2	講義	高等学校で数学Ⅱは学習したが、数学Ⅲの授業を受けていない(または、数学Ⅲを受けたが落ちこぼれてしまった)学生を対象に、微分と積分の講義をします。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1202	数理の構造	2	講義	身の回りに潜む数学についての知見を深めることができるようになる。具体的には、(1)古典的な数学からの話題を通して、数理論理学の一面を理解できるようになる。(2)数学を専攻としない学生の素養として、数理論理学の考え方の一端を理解できるようになる。の何れかが達成されることを目標とする。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1203	物理の世界	2	講義	科学や物理学に興味を持ち、自分で調べる力を学ぶ。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1204	自然と物理	2	講義	物理学の基礎知識を学ぶことによって、自然の成り立ちと法則を知り、多様な現象に対して物理学的視点から考えて理解を深め、視野を広げる。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1205	化学の世界	2	講義	私たちの身のまわりの様々な製品や食品を化学的な視点で捉え、化学的に説明できるようになる。また、現代に生きる人間として、必要な化学の知識を身につけ、生活の中でその知識を活用できるようにする。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1206	生活の科学	2	講義	我々が生活してゆく上で切なる化学の知識を広く身につける。分子を通して広く化学に関心を持てるようになる。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1207	生命科学	2	講義	生命(植物、動物、微生物)についてミクロからマクロまで様々な視点で理解すること。生物は多様な環境の中で生育し、様々な形態をもって適応している。生物の環境への適応戦略の仕組みを知り、理解することで人文、社会、教育学への応用につなげることができるようになる。また、進歩が目まぐるしい現代生物学の基礎について、それぞれの項目を専門とする教員が簡単な言葉で授業を行うことにより、生物学の知識がほとんどない学生でも生命科学の基礎と応用を学ぶことができる。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1208	生物と環境	2	講義	多様な環境に生育している生物の環境適応や適応戦略の仕組みを理解することで、様々な問題に対処するための考え方を身につける。生物の有する価値や命の営み、生態系の保全など生物に関する情報に対する視座を自ら構築し、自らが世界の中でどのような存在であるか思いを馳せる能力を獲得する。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1209	地球科学	2	講義	現代日本の生活者として必要最小限の地球科学の最新知を身につける。地球システムが人間社会へ与える影響や、社会と自然の関わりについて理解できるようになる。我々が生きている環境がどのようなメカニズムで作り出されているのか、その科学的背景への興味・関心を抱ききっかけを得る。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1210	進化と地球環境	2	講義	地球環境と生物進化について、それぞれの概要、背景、成立原理を学び捉えて理解することを目標とする。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1211	科学と技術	2	講義	科学と技術を多角的な視点で捉え、理系学生にも文系学生にも科学と技術がいかに現代社会にかかわっているかを理解し、広い視野を持てるように涵養することを目的とする。							○		○		○						○	○		
現代教養科目	学際科目			LAID0000	<各科目>	1〜2	-								○		○		○					○	○			
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI1101	問題分析とモデリング	2	講	社会や組織での様々な活動を支援する情報システムを設計・開発するための問題分析とモデリング技法に関する知識・技能を身につけ、問題分析とモデリングができるようになる		○								○	◎					○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI1102	コンピュータネットワーク基礎	2	講	OS/7階層モデル、プロトコル、フロー制御、ルーティング、TCP/IPなどの概念を身につけ、ネットワーク技術の基礎理論を修得する。これにより、コンピュータの原理およびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成することができる。本講義では、計算機ネットワークで使われる技術の本質を深く理解し、将来の計算機ネットワークがいかにあるべきかを考える力を養うことができる。			◎									○				◎			○	
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI1103	統計学入門	2	講	統計理論に基づくデータ解析は、農学・工学・理学等の理系の分野はもとより、心理学・経済学・社会学等の文科系の分野でも予測、評価、管理等の目的で広く利用されている。本講義の目的はデータ解析の現場で利用される基本的な統計的手法について知識・技能を身につけることである。講義では、得られたデータを整理・要約するための記述統計学、その解析結果から母集団における状況を推測するための推測統計学について、その基礎的内容を具体例に基づいて解説する。なお、パソコン(R、エクセル)を利用した簡単な演習も行う。			○									◎					○		◎	
専門科目	行動情報学科	1年次	選必	INBI1201	線形代数学Ⅰ	2	講	微分積分学Ⅰ、Ⅱを通じ、極限、微分法、積分法、偏微分法、重積分、微分方程式などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎		○			○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選必	INBI1202	微分積分学Ⅰ	2	講	微分積分学Ⅰ、Ⅱを通じ、極限、微分法、積分法、偏微分法、重積分、微分方程式などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎		○			○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選必	INBI1203	線形代数学Ⅱ	2	講	線形代数学Ⅰ、Ⅱを通じ、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎		○			○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選必	INBI1204	微分積分学Ⅱ	2	講	微分積分学Ⅰ、Ⅱを通じ、極限、微分法、積分法、偏微分法、重積分、微分方程式などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎		○			○		◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4			
専門科目	行動情報学科	1年次	選必	INBI1205	情報と心理	2	講	・情報システムと人間心理をつなぐ基礎的な知識を身につける ・情報学の諸分野(情報技術、行動情報、情報社会)を人間心理からとらえる観点を取得する		◎								○	○				◎		○				
専門科目	行動情報学科	1年次	選必	INBI1206	認知科学	2	講	人間の記憶や思考、問題解決といった「心のはたらき」を達成する能力に着目し、なぜ人間は高度な知性を身につけたのか、どのようなプロセスでそれを実践しているのかを自己の体験や簡単な実験を通して理解する。さらに人間の心のはたらきをコンピュータによってシミュレートする方法とその科学的妥当性についても学ぶ。これらの学習を通して、人間の認知能力に対する理解と関心を得ると共に、情報科学と人間の認知能力の接点と融合点を発見する力を養う。	◎	△	△								○	△	△		◎		○	○			
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1301	メディア・リテラシー I	2	講	メディアが発信する情報を分析的に読み解く能力とともに、メディアを道具として活用し、情報メディア社会に主体的に参画していったための情報発信能力を体験的活動を通じて習得する。そのために、1. 環境や年代によるメディア体験(受容)・情報行動のあり方の意識化 2. ワークショップという協調学習をファシリテートする能力の育成 3. メディアが現実を再構成するための基本的技法を知ること 4. 制作実習を通じてメッセージを効果的に伝える技法を学び、かつメディアの作られ方がメッセージの伝達に与える影響を理解する。以上4点を習得できるようにする。							○				◎		○				○	◎	○		
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1302	情報社会論	2	講	情報社会の全体構造や組織構造を捉えるために、情報社会のシステム論を学習した上で、個人を中心に、企業や政府などの視点も含めて、各主体から見る情報社会の全体観を身につける。										○	○	△		◎				◎			
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1303	社会調査論	2	講	社会科学としての社会調査の目的、意義、種類、方法、歴史に関する基本的な知識を身につける。さらに、実際の調査例(量的調査と質的調査)を詳細に学びながら、社会調査を実施する上でのモラルやトラブルに関する理解を深める。										○	◎	○					○	◎			
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1304	社会公共システム論	2	講	公的サービスで利用される情報システムは大型汎用計算機で情報処理した時代から、インターネットで代表されるオープンな情報システムも併用して住民サービスを行う情報システムに変化について知識を身に付ける。		◎	○						○							◎	○				
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2101	アルゴリズムとデータ構造基礎	2	講	アルゴリズムとデータ構造は、コンピュータを基盤とした情報システムの構築における最も重要かつそのコアとなる理論を構成するものであることから、本講義では、その専門知識としての基礎理論を習得し応用例に触れるとともに、連携して行われる演習も通じて、その実践力を養いこれを学ぶことの意義を理解できるようにすることを目標とする。		◎													◎		○				
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2102	データ処理プログラミング	2	講	プログラミングができて理解しているかどうかは、機械を使う側になつたか、機械に使われる側になるかの分け目になる技能であり、直接関連する職業でなくとも現在の、そして今後の社会・企業においてはより大きく、個人の価値を上下させる。データ処理という点では、いわゆるビッグデータの処理や人工知能関連技術において機械学習の利用はその中核である。本演習では機械学習の利用を題材に、Java初級プログラミングとして基礎的な概念、代表的な標準APIとその使いこなしを身につけ、個々のプログラミングスキルを向上させる。また、コンソール上の基本的な利用方法を習得する。作業を通じて、オープンソースツールやサードパーティーライブラリの利用を体験し、短時間で完成度の高いシステムを完成させる方法の習得を目指す。		◎												○				◎		○	
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2103	データベース論	2	講	実効のある情報システムの構築には、そこで扱う情報を効率よく、かつ効果的に管理する仕組みであるデータベースが不可欠である。この授業では、データベースの原理、その設計手法とその基盤をなす理論、そしてデータベースを実現するための技術について理解し、適切な例を用いて説明できるようになることを目標とする。		○											◎		○				◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2104	情報システム基礎演習	2	演	情報システムの設計において不可欠な二つの技術的な柱、すなわち、ビジネスモデリング技法とデータ設計について、その原理を理解すると同時に、演習をとおして実践的スキルを身につけ、活用できるようになることを目指す。		○										◎	○			○			◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2105	データ分析応用論	2	講	昨今、通信機器やセンサなどの情報技術の小型化、高性能化、遍在化、サービス化に伴い、量的かつ質的に多様なデータ(ビッグデータ、リッチデータ)を取得できる環境が整いつつある。このような情報爆発時代の到来を踏まえて、本講義においては、データの情報化プロセスを通して、バイアスにとらわれない合理的なリスク判断、意志決定、問題解決方針の導出を行うなど、実社会での行動生成や、新しい情報サービスの創出の基盤となるデータ分析力を身につけることを目標とする。																		◎		○	
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2106	経営のしくみ	2	講	情報システムが適用対象とする企業の経営がどのような構成要素から成立しており、それらの構成要素がどのように関係しあって経営がダイナミズムに展開されるかを理解すること。		◎														○	◎		○		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2107	ビジネス計画論	2	講	ビジネスの計画立案に関する基礎的な考え方を学ぶ。ビジネスの計画立案にあたっては、「どのような市場に参入するか」といった大きな視点からどのように事業を計画するか」といった具体的な視点まで、さまざまな視点が必要となる。この授業では、これらの概略が把握できることを目標とする。														◎				○		◎	
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2108	ユーザビリティ設計・評価論	2	講	情報システムは、ネットワーク技術の普及とともに、人間生活の基幹構造として位置づけられるようになった。情報システムを利用する上で、ユーザが直接対峙するテクノロジーのインタフェースの設計(デザイン)は、その基幹構造の有用性の向上のためには重要な側面である。本講義では、こうした「利用者にとって使いやすいインタフェース」の設計の基本理念とその開発手法・評価手続きを学ぶ。これにより、システム開発時に使いやすいUIや継続的な利用を促すUXを意識して開発できるようになる。												○		○	◎				◎		○
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2109	Webシステム設計演習	2	演	3年次の「情報システム開発演習」および「情報資産構築演習」での演習の前提となる、システム構成の知識やシステム設計の方法論について、提示されたケースによる簡単なシステム開発を実践することで身につける。											○		○	◎				○	◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2110	データ分析応用演習	2	演	ネットワーク技術の発達及び情報機器の小型化、高性能化、遍在化、サービス化に伴い、データ収集のコストが著しく低下している現状を踏まえて、この講義では、実社会でのアクションプランにつながる情報の分析力と活用力を獲得するために、バイアスにとらわれない合理的なリスク判断、意志決定、問題解決方針の導出のデータ分析手法を身につける。											○		◎	△			◎		○		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2111	情報資産構築論	2	講	ISプログラムサービス系科目の中核的な情報資産構築分野の中心的な講義科目として、情報資産の分野を横断した資産構築の社会的意義や、コンテンツを中心としたサービスを実現する情報システムを企画・設計・開発・運用の方法論を学ぶ。特に資産の利用者にとって使いやすい環境構築のために、認知の観点からの分析設計方法を検討することができるようになる。		◎	○						○							◎	○	○			
専門科目	行動情報学科	2年次	選必	INBI2201	離散数学	2	講	集合論、代数学、グラフ理論についての基礎事項を身に着け、使いこなせるようになる。	◎															◎		○			

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	行動情報学科	2年次	選必	INBI2202	多変量データ解析	2	講	各個体や対象に対して、複数の特性について観測されたデータに基づき、各変数間の相互関連性を分析するための手法は多変量解析手法とよばれる。多変量解析法はあらゆる分野で広く用いられている手法で、本講義はその入門と位置づけられる。統計学的理論と実データへの適用例との両側面から各手法を解説し、演習を多く取り入れることで、多変量解析法の基本的な考え方と実践の技能を身につける。		○								◎					○		◎			
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2301	情報管理社会論	2	講	思想・文化的、社会・制度的、科学・技術的側面から、現実の都市空間からネット空間にまで及ぶ「情報管理社会」を総合的に捉え、それに対する自分なりの問題意識、的確な批判力を持てるようにする。											○	◎	○				◎	○		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2302	社会調査法	2	講	本講義では、社会調査の代表的な手法である、量的調査法と質的調査法を学ぶことを通じて、社会調査の基本的な技法やマナーを習得する。受講生は、グループワークを通して、主体的に社会調査の設計と実践に取り組み、集計、発表、報告書執筆などで調査の一連のプロセスを経験し、スキルを身につける。							△	○	◎	△	△			○			○	◎	○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2303	統治システム論	2	講	1.様々な形態の統治の基本知識を習得する 2.コーポレート・ガバナンスについて特に深く理解する 3.現代の情報社会における統治の見方を身につける			◎	○			△	○								◎	○			
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2304	情報・ネットワーク経済と競争	2	講	現在のさまざまな経済活動において、情報やネットワークがどのような影響を与えているかについて理解できるようにする。		○	◎													◎		○	○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2305	情報理論	2	講	情報量、エントロピー、情報源符号化定理、通信路符号化定理などの概念を理解し、情報理論の基礎を身につけ、理論を応用できるようにする。これにより、情報の分析能力および論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成することができる。「情報」を数量として扱うエントロピーを学び、シャノンが導いた「情報源符号化定理」、「通信路符号化定理」などを習得することができる。	◎															◎			○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2306	先端情報学実習Ⅰ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																	○	◎	◎	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2307	情報職業論	2	講	コンピュータとネットワークによる社会の情報化が、情報職業を量的に拡大させ、質的に変化させてきた。狭義の情報職業(情報サービス従事者)の問題に限らず、情報と職業構造の問題を通時的・共時的に理解することで、情報職業に就いたときの精神的バックボーンを形成できるようにする。		△	○						○		◎		△			○	○	◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2308	環境・地理情報システム論	2	講	地理情報システム(GIS)とは、地図を共通基盤として、地域のデータを表示したり、編集したり、分析したりすることのできるシステムである。本授業では、地理情報システムのフリーソフトであるQGISを用いて、講義とともに実習を行い、QGISの基本操作を習得する。さらに作成された地図をどのように活用していくのか、実習を行っていく過程で説明できるようにする。														◎					◎	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2309	情報社会思想	2	講	情報社会を巡るいくつかの重要な思想についてその背景や影響も含めて理解する。また、こうした思想について情報社会の現状や未来を見据えつつ批判的に再検討・評価することで、情報社会の人間の倫理的なリデザインに参加する態度と力を身につける。			△					△	○		○	◎	△	△			○	◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2310	社会モデル	2	講	社会や経済を分析するためにさまざまなモデルが使われていることを知り、それらのモデルの意味を理解、活用できるようにする。											○	◎	○					◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2311	プログラミング方法論	2	講	分析、設計、プログラム開発、テストの各工程の役割、オブジェクト指向などの概念の講義を通じ、検査・変更・拡張が容易なプログラムを作成する方法論を教授することにより、大規模かつ良質なプログラムの作成法を身につける。これにより、受講者はソフトウェアおよびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力を身につけることができる。	◎															◎		○		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2312	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2	講	より巧みに設計されたアルゴリズムやデータ構造を上手に用いることで、同じ目的に対するものであっても、データの処理効率に大きな違いが出ることを理解できるようにする。 ○ 言語を用いて高速に動作するプログラムを作成できるスキルを身につけるとともに、言語仕様の違いからくるプログラミングの難しさやその挙動の把握の難しさについて、理解できるようにする。 アルゴリズムやデータ構造の性質の違いを具体的に議論し、その理論体系とその重要性を深く理解することができるようになる。 後続の科目の履修に必要な、ソフトウェアの設計、およびプログラミングスキルを身につける。	○												○	◎					◎	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2313	データベースシステム論	2	講	大規模なデータを管理するために生まれ、今も発展しつづけている「データベースシステム」を最新のトピックも交えつつ学ぶ。データベースの理論を理解し身につけるとともに、実践的な技術を習得する。			◎													○	◎		○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2314	先端情報学実習Ⅰ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																	○	◎	◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	必修	INBI3101	プロジェクトマネジメント	2	講	目標や課題解決のためのプロジェクト立案方法、スコープ、スケジュール、コストを考慮したプロジェクト計画策定方法、プロジェクト実施時の進捗や品質に関するマネジメントの方法について、講義と演習を併用して身につける。														◎	○			○	◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	必修	INBI3102	情報セキュリティ	2	講	情報セキュリティを、技術的側面(暗号をはじめとするセキュリティ要素技術)と人間的側面(情報倫理や情報法という広義の情報モラル)の両側面から学ぶことを目的とする。	◎		◎						○							◎		○		
専門科目	行動情報学科	3年次	必修	INBI3103	情報学方法論演習	2	演	情報学の基礎的な学習から次第に専門的な領域に踏み入り、さらに卒業研究へと展開、発展させる段階におかれた特別な授業である。この授業は、各学科毎に開講され、学科担当教員の個性的で専門的な情報学の紹介・人間的な授業を受けることで、情報学の専門的深さと多様さ・広がりを変えて学び、その授業を通じて、後期からの研究室選択(行動情報学演習)を決定する。			◎													◎		○	○	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	行動情報学科	3年次	必修	INBI3104	行動情報学演習	1	演	卒業研究準備のための演習を実施し、文献調査方法、英語論文読解能力、プレゼンテーション技法、等を身につける。									◎	○			○				◎	○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3201	ビジネス計画演習	2	演	ビジネスゲームを通じた経営センスや、商品・サービスの業界分析などの知識を身につけた上で、ビジネスプラン立案の実践をおこないます。ビジネスプラン策定における一連のプロセスを体験することにより、手法を身につけるだけではなく、ビジネスを構想する力を養っていきます。							○					○		◎		○		◎		
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3202	ユーザビリティ設計・評価演習	2	演	ユーザビリティ設計・評価論で扱われた基礎的内容をふまえ、生産性を向上させるためのシステムデザインのあり方についての理解を身につける。		◎									○	△			◎		○			
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3203	情報システム開発演習	2	演	本演習では情報技術やプログラミング技術のほか、情報システムを設計・開発・運用するための基礎的な思考法やマネジメントの方法を実践し、現実の場面で活かすことができる能力の育成する。具体的には、情報システムを開発することを通じ、個々のスキルレベルと興味に応じた能力を向上させる。開発すること以外に、スケジュール管理やドキュメント執筆・プレゼンテーションなどの演習も含む。		◎												○		◎		○	○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3204	情報資産構築演習	2	演	情報資産構築分野において、「情報資産構築論」で学んだ資産構築の考え方に加えて、テクノロジー系あるいはマネジメント系で学んだシステム構築・運用の知識と技能を含めて、コンテンツを中心としたサービスを実現する情報システムを構築する演習を行い、情報資産の構築に関する理解を深めていく。具体的には、問題を発見し、解決するための手続を計画・実行することで、情報資産構築における一連のプロセスを理解する。			△						△	○			△	○	◎		○		◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3205	データマイニング	2	講	現在の情報社会におけるWeb・ソーシャルメディア・ICカード等の普及により、膨大で多様なデータが時々刻々と生み出されている。そのようなデータはビッグデータと総称される。本講座では様々な分野のデータ分析事例を通じて、データマイニングに関連した技術を学ぶ。		◎											○		◎		○		○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3206	人工知能	2	講	人工知能(AI:Artificial Intelligence)という言葉が表す学問分野は幅広い。ここでは黎明期から現在に至るAIの全体像を学ぶとともに、機械学習をはじめとするAI関連技術についての基礎的な知識を身につける。	◎												○		◎				○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3207	システムマネジメント	2	講	全体構造と個々の要素の相互関係性を理解し、時間経過の影響を考慮した分析手法により、悪循環を回避し、好循環を生み出す意思決定方法を身につける。また情報システムの評価や維持のためのマネジメントに関する知識を身につける。												○		◎	○		○	◎		
専門科目	行動情報学科	3年次	選必	INBI3208	知的情報システム開発	2	講	前半部では、データ活用の最前線の状況について知識を得る。中盤から後半部では、データ活用のデザイン方法論を学び、問題解決とその他のコミュニケーションの能力向上を図る。							○				◎					○	◎		○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3301	意思決定論	2	講	企業経営のマネジメントで典型的な意思決定問題を取り上げ、その理論と手法について理解すること。		○									◎		○	△	○		◎	○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3302	金融システム論	2	講	銀行業、証券業、国際金融、地域金融などの金融システムの現状と、最近の変化や課題を学び、情報技術の有効活用を中心とした課題解決について、具体的に提案できるようにする。											◎	○	○				◎	○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3303	産業社会行動分析	2	講	産業の発展と共に社会は成熟化している。その一方で、市場では消費者を捉えることが難しくなっている。消費者の行動を分析し、商品・サービスにその知見を活かす方法を学ぶ。		○									◎	○				○		◎		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3304	視聴覚教育メディア論	2	講	この授業の学習目標は、教育の文脈で用いられるマルチメディア教材を制作・使用する際に求められる原則的・理論的な事柄を理解することである。人の認知的特性など理論的な事柄や、マルチメディア教材をデザインするための原則を用いて、具体的な教材や教具を適切に評価し、問題点を指摘し、改善方法を提案できる力を身につける。		◎										○	△			◎		○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3305	組織マネジメント	2	講	組織のマネジメント、プロジェクトベースの人事配置等に関する基礎的な理論について理解できるようにする。		○									△	◎	△		○		◎	○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3306	組織科学	2	講	「集団の知性(Collective Intelligence)」という言葉に代表されるように、これからの知識創造社会を牽引する能力は、優れた個人に期待されるものを超えて、teamworkを始めとする集団や組織の活動としての知性が重要だといわれている。こうした現象を分析し、問題を抱えている組織を改善するconsultation methodの一つに発達的ワークリサーチ(Developmental Work Research)と呼ばれるものがある。本講義では、発達ワークリサーチの概要を学習し、その理論的枠組みを仮想的な組織活動を分析することを通して理解を深めていく。		◎											○		△	◎		○	△	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3307	知的財産論	2	講	企業の知的財産戦略、デジタルコンテンツの著作権等、現在問題になっている知的財産問題について、法的な視点、倫理的な視点の両視点で考察し、企業活動や関連の政策立案においてどのような指針を持つべきかを理解できるようにする。特許庁の業務効率化や著作権権拡大など知的財産保護の強化という観点に加えて、オープンソースや知のパブリックメインという流れについても合わせて理解する。				○					△	◎							○	◎		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3308	地域情報マネジメント	2	講	地域の情報を収集、分析、利活用するための手法を理解し、実践できる能力を身に付けることを目標とする。											◎	○	○				◎	○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3309	グローバル経営システム論	2	講	経営学の様々な理論を踏まえ、企業の国際化・グローバル化に関する分析ができるようになる		○		◎		○										○	◎			
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3310	学習過程論	2	講	本講義にて、受講者は以下の項目を習得する。 1 協同問題解決・学習過程の理論と方法 2 協同問題解決・学習過程の分析方法 これらの項目を習得することで、受講者は組織による問題解決の基本となる協同問題解決の理論と方法を実践的に取得し、かつ組織による問題解決のプロセスをモニタリングし、方向づけるメタ認知を育成するようになる。		◎												○	○		◎			○
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3311	シミュレーション	2	講	情報系及び物理系のシミュレーションの基礎を学び、モデル化、シミュレーション手法、計算資源の最適配分、シミュレーションの実際などシミュレーションをするための専門的知識を身につける。											○		◎					○	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3312	オペレーティングシステム	2	講	計算機システムにおいて、オペレーティングシステム(OS)は欠くことのできない重要なソフトウェアである。オペレーティングシステムの役割に関して、プロセス管理、メモリ管理、ファイルシステムなどの仕組みを理解する。これにより、コンピュータの原理およびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成できる基本的なテクノロジーを理解し、様々なシステムの開発へ活用できるようにする。	◎								○	○					◎		○			
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3313	ネットワークプログラミング	2	演	計算機ネットワークの基礎事項を実装レベルで再確認し、サーバサイド・クライアントサイドの両者において通信を行う基本的なアプリケーションの設計・開発ができるようになる。	◎									○		○			◎		○	○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3314	ソフトウェア品質管理	2	講	プロジェクトのリスク管理戦略の一環として効果的にテストを実施する方法(リスク分析、テスト計画、分析と設計、実行)について、具体的な事例を通して理解する。品質の定義と測定・改善の方法について理解する。この授業の前半ではソフトウェアテストの各種技法を学ぶ。その後、具体的なテスト対象プログラムに対して、テスト計画を立て、各種テストを実施し、テストレポートを作成する演習を行なって身につける。	◎	○									○				◎		○			
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3315	人間情報活用論	2	講	人間の知的さ、質さを、個体とその環境との相互作用(インタラクション)の中に位置づけられた存在という観点から考察し、次世代の情報科学の基盤となる人間がもつ認知能力と人工知能技術を応用した知的システム、あるいは人間同士のコラボレーション関係の構築のための指針を得ることを通じて、人間の能力と知的システムとが協調した高水準なパフォーマンスを引き出すための基礎知識およびスキルを修得する。	◎	○	△				△	△			○	△	○	△	△	◎	○	○	○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3316	先端情報学実習Ⅱ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎				○	◎		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3317	オペレーション計画	2	講	実務で直面する問題の中には、解決手法が確立されているものも多々ある。そのような解決手法の中でも特に数理的な手法では、問題を定式化することが必要となる。この授業では、代表的な数理的問題解決手法に関する知識の獲得と、問題を定式化するスキルの習得を目指す。		○											◎		○	○			◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3318	ヒューマンインタフェース及び演習	2	講・演	人間にとって望ましいヒューマンインタフェースを実現するための技術と実装方法を理解できるようにする。日進月歩の情報通信技術、ヒューマンサイエンス、システムデザインが融合的に関わり、人間と機器システムの境界としてのインタフェースに加えて、ハードとソフトを融合した価値の創出を対象とする。人間という観点で情報技術を考える本講義と実践的演習を通して、ヒューマンインタフェース設計の多面的な力を身につける。												◎	○					◎	○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3319	インターンシップ-A	2	実	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成：礼儀、約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備：就職活動そのものではない、採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。													◎		○				◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3320	インターンシップ-B	1	実	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成：礼儀、約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備：就職活動そのものではない、採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。													◎		○				◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3321	先端情報学実習Ⅱ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。													○	◎			○		◎	
専門科目	行動情報学科	4年次	必修	INBI4101	卒業研究	6	演	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身につける。			△								△	△	△	○	◎	○				◎
専門科目	行動情報学科	4年次	選択	INBI4301	先端情報学実習Ⅲ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。													○	◎			○		◎	
専門科目	行動情報学科	4年次	選択	INBI4302	先端情報学実習Ⅲ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。													○	◎			○		◎	

■ 平成30年度・令和元年度入学生用 カリキュラム・マップ ■

情報学部 情報社会学科

(令和3年3月4日更新)

学位	学士(情報学)		ディプロマ・ポリシー(DP)																	
			1. 専門知識		2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力			4. 実践力				(中区分別の該当状況)				
			情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の理解・運用能力	異文化コミュニケーションにおける問題理解	利害、興味、文化、国を越えた人との協働・協力	情報取扱いのモラル、マナー、セキュリティ	状況を認識するために必要な情報の収集	情報と知識理解を通じた状況分析・論理的考察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の導出	解決策についての説得力ある発表・文書化	解決策の実施・実現・評価	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力	3. 論理的思考力	4. 実践力
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4			
付属情報																				
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標												
基礎教育科目	新入生セミナー	大学導入	選択	LAFS0301	新入生セミナー	2	演習	大学では、これまでの高校時代とは異なった勉学姿勢・態度が求められます。単に知識・技術を覚えるだけでは十分ではありません。何ごとにも「なぜ?」という問いかけを自分自身に行ない、自分で解決すべき課題を見つけ、問題に取り組む姿勢を身につけることが目標です。そのための基礎として、「語る」「他者の意見を聴く」「自分の意見を発表する」「文章内容を読み取る」「レポートを書く」などのアカデミックスキルを身につけます。また、大学生は社会人としての見識・マナーを身につけ、良識ある社会人として行動することが求められます。さらに、大学はいろいろな個性を持った友人、教職員の人たちと広く深く触れ合う場所でもあります。この新入生セミナーは、あらゆる意味で君たちの大学での出発となる場所なのです。												
基礎教育科目	情報処理	1年次	選択	LAIP1301	情報処理	2	演習	今や大学生にとって、情報機器を活用するスキルは必須のものとなっています。インターネットを使った膨大な情報へのアクセスや遠隔地とのコミュニケーション、ワープロや表計算ソフトを使った文書の作成や計算・グラフの作成、PCで作成したスライドを使ったプレゼンテーションなど、どれもできて当然。とはいっても、実際に体験してみなければ身につかないものです。そこで本科目では、ワープロ、表計算、プレゼンテーションツール、インターネットの活用方法を実践的に学習することを目的とします。体験を重視するため、課題・宿題が比較的多くなります。意欲ある方を歓迎します。												
基礎教育科目	英語	1年次	必修	LAEG1101	英語コミュニケーション I	1	演習	The course goal is for each student to develop communicative language ability. Students who successfully complete the course will be able to perform basic communicative tasks in English. (これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、英語のコミュニケーション能力を発展させる。英語で基本的なコミュニケーションが取れることをめざす。)												
基礎教育科目	英語	1年次	選必	LAEG1201	英語演習 I	1	演習	リスニングとリーディングを中心に、英語の基礎的能力を充実させる。 TOEIC(R Listening & Reading Test (TOEIC(R L&R) の出題形式を把握する。												
基礎教育科目	英語	1年次	選必	LAEG1202	基礎英語演習	1	演習	基本的な文法事項と語彙を中心に、英語の基礎的能力を充実させる。 基礎的な語彙力や文法力を徹底的に訓練する。												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1301	英語コミュニケーション II	1	演習	-												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1302	英語演習 II	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語の運用能力を発展させる。												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1303	英語リーディング I	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語のリーディング能力を発展させる。中級レベルの英語の文章を理解できる力を身につけることをめざす。												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1304	英語演習 III	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語運用能力を身につけます。												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1305	英語リーディング II	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、リーディング能力をさらに発展させる。中上級レベルの英語の文章を理解できる力を身につける。												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1306	英語ディスカッション	2	演習	-												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1307	英語インテンシブA	2	演習	-												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1308	英語海外研修A	2	演習	アメリカ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、アメリカ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。												
基礎教育科目	英語	1年次	選択	LAEG1309	英語海外研修B	2	演習	カナダ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、カナダ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。												
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2301	英語ライティング I	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語のライティング能力を発展させる。比較的複雑ではない概念を表現できるライティング能力を身につけることをめざす。												
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2302	英語ライティング II	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、英語のライティング能力をさらに発展させる。比較的複雑な概念を表現できるライティング能力を身につける。												
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2303	英語インテンシブB	2	演習	-												
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2304	アカデミックイングリッシュ I	2	演習	-												
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2305	アカデミックイングリッシュ II	2	演習	-												
基礎教育科目	英語	2年次	選択	LAEG2306	アカデミックイングリッシュ III	2	演習	This course will be an introductory survey course (conducted in English) that aims to deepen students' knowledge and understanding of important global issues affecting the world today. Specific issues that will be covered include the following: globalization, security and conflict, climate change, multiculturalism and immigration.												

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
基軸教育科目	英語	3年次	選択	LAEG3301	ビジネスイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、ビジネスの場面を想定した高度な英語力を身につける。				○	○	○										○				
基軸教育科目	初修外国語	1年次	必修	LAFL1101	初修外国語入門Ⅰ	1	演習	外国語の発音、語彙、文法の基本的な知識を学習し、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力を獲得する。授業では社会と文化に関するトピックを取り上げ、異文化理解と外国語学習を融合させる。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学ぶことを念頭に教材を選び、受講生の外国語の潜在能力が十分に引き出されるように配慮する。				○	○	○										○				
基軸教育科目	初修外国語	1年次	必修	LAFL1102	初修外国語入門Ⅱ	1	演習	異文化理解を前提とした外国語学習を進め、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力や語学力の向上を目指す。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学び、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、知識と能力を実用的レベルに引き上げることが目標とする。				○	○	○										○				
基軸教育科目	初修外国語	1年次	選択	LAFL1301	初修外国語Ⅰ	2	演習	初修外国語入門Ⅰ・Ⅱを学習したことを前提にして、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰでは、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。				○	○	○										○				
基軸教育科目	初修外国語	1年次	選択	LAFL1302	初修外国語Ⅱ	2	演習	初修外国語Ⅰまで学習を進めた学生を対象に、引き続き、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰと同様に、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。				○	○	○										○				
基軸教育科目	初修外国語	2年次	選択	LAFL2305	初修外国語Ⅲ	2	演習	初級文法を一通り理解していることを前提に、これまで学習した初修外国語の基礎を確かなものとして、より総合的に各国語を学んでいくことになる。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。				○	○	○											○			
基軸教育科目	初修外国語	2年次	選択	LAFL2306	初修外国語Ⅳ	2	演習	初修外国語のⅢまでで習得した外国語の知識と能力をもとに、実践的な語学力の獲得を目標に各国語とその言語圏についてさらに学習を進める。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。				○	○	○										○				
基軸教育科目	健康体育	1年次	選択	LAPH1301	健康体育Ⅰ	1	講義・ 実技	-							○									○				
基軸教育科目	健康体育	1年次	選択	LAPH1302	健康体育Ⅱ	1	講義・ 実技	-							○										○			
基軸教育科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2301	スポーツⅠ	1	実技	-							○										○			
基軸教育科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2302	スポーツⅡ	1	実技	-							○										○			
基軸教育科目	キャリア形成科目	1年次	必修	LACD1101	キャリアデザイン	1	講義	大学生活3つの柱である学業・人間関係・将来のキャリアについて考えられるようになる。 生活と学びの基盤となる大学と地域についての知識を増やし、自らの主体的なキャリア形成に活かせるようになる。 世界や日本、地域の経済産業構造の現状について説明できるようになる。 個人の生活環境、労働環境の様々な現代の問題について説明できるようになる。									○	○	○							○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1201	哲学	2	講義	私たちが「当たり前」のものとして受け入れている前提を問う哲学的な営みを学ぶことにより、批判的かつ論理的にもとごとを思考できるようになる。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1202	歴史と文化	2	講義	異なる地域、異なる時代の歴史について学ぶことにより、現在の我々をとりまく社会や環境について比較・考察するための知識や理解力を養うことを目的とする。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1203	ことばと表現	2	講義	言葉を適切に表現し正確に理解する能力を育成することにより、思考力・想像力・言語感覚を高めることができるようになる。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1204	日本国憲法	2	講義	①日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について理解できるようになる。 ②身近な問題や時事問題を憲法の観点から考えることができるようになる。 ③主権者として国家に対してどのように向き合おうかを考えることができるようになる。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1205	法と社会	2	講義	①法の考え方、法的なものの方について理解する。 ②法にまつわる社会事象について理解し、考察する。 ③刑事系を中心とする法制度・法政策について理解し、考察する。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1206	経済と社会	2	講義	流通と商業、特に小売業と卸売業者の種類の違いと流通システムに関する知識を得、それらをもとに現代社会で起きている様々な出来事に対して深い思考を巡らすことができるようになる。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1207	国際社会と日本	2	講義	国際経済事情を多角的に考察・理解し、グローバルな人材としての現代社会を見る目及び考える力を養うことを目指す。同時に今後日本が取り組むべき課題が何かについて分析し、課題解決能力を身に付ける。なお、この授業を通して、経済ニュースや経済新聞などを読む習慣を身に付けることを期待する。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1208	現代の社会	2	講義	日本の若者が直面している「移住の長期化」という問題、迷惑施設という具体的な問題など、具体的な社会問題を社会学の視点で検討することを通して、現代社会を理解し考える力を養うこと。							○			○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1209	心理学	2	講義	私たちの生活に密着した学問である心理学の基礎的な知識を習得する。そして、それらの知識を、自らの今後の生活や研究分野にどのように生かせるのかを考えることができるようになる。							○			○		○					○	○		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1210	地域と文化	2	講義	グローバル化が進み、多様性や複数性が顕著な文化と地域社会(コミュニティ)についての人文的知見を学習し、他者との共生を図るための視点を獲得する。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1211	芸術論	2	講義	(第1～7回)クラシック音楽の歴史や鑑賞の観点を知り、音楽の特徴を感じながら鑑賞できるようになる。自分の感じた音楽の特徴を文章にまとめることができるようになる。 (第8～14回)舞台芸術作品であるオペラを中心に鑑賞し、それらに関する己の意見が述べられるようになる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1201	数学の世界	2	講義	高等学校で数学Ⅱは学習したが、数学Ⅲの授業を受けていない(または、数学Ⅲを受けたが落ちこぼれてしまった)学生を対象に、微分と積分の講義をします。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1202	数理の構造	2	講義	身の回りに潜む数学についての知見を深めることができるようになる。具体的には、(1)古典的な数学からの話題を通して、数理学の一面を理解できるようになる。(2)数学を専攻しない学生の素養として、数理学の考え方の一端を理解できるようになる、の何れかが達成されることを目標とする。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1203	物理の世界	2	講義	科学や物理学に興味を持ち、自分で調べる力を学ぶ。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1204	自然と物理	2	講義	物理学の基礎知識を学ぶことにより、自然の成り立ちと法則を知り、多様な現象に対して物理学的視点から考えて理解を深め、視野を広げる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1205	化学の世界	2	講義	私たちの身のまわりの様々な製品や食品を化学的な視点で捉え、化学的に説明できるようになる。また、現代に生きる人間として、必要な化学の知識を身につけ、生活の中でその知識を活用できるようにする。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1206	生活の科学	2	講義	我々が生活してゆく上で切なる化学の知識を広く身につける。分子を通して広く化学に関心を持てるようになる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1207	生命科学	2	講義	生命(植物、動物、微生物)についてミクロからマクロまで様々な視点で理解すること。生物は多様な環境の中で生育し、様々な形態をもって適応している。生物の環境への適応戦略の仕組みを知り、理解することで人文、社会、教育学への応用につなげることができるようになる。また、進歩が目まぐるしい現代生物学の基礎について、それぞれの項目を専門とする教員が簡単な言葉で授業を行うことにより、生物学の知識がほとんどない学生でも生命科学の基礎と応用を学ぶことができる。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1208	生物と環境	2	講義	多様な環境に生育している生物の環境応答や適応戦略の仕組みを理解することで、様々な問題に対処するための考え方を身につける。生物の有する価値や命の営み、生態系の保全など生物に関係する情報に対する視座を自ら構築し、自らが世界の中でどのような存在であるか思いを馳せる能力を獲得する。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1209	地球科学	2	講義	現代日本の生活者として必要最小限の地球科学の最新知を身につける。地球システムが人間社会へ与える影響や、社会と自然の関わりについて理解できるようになる。我々が生活している環境がどのようなメカニズムで作り出されているものか、その科学的背景への興味・関心を抱ききっかけを得る。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1210	進化と地球環境	2	講義	地球環境と生物進化について、それぞれの概要、背景、成立原理を学び捉えて理解することを目標とする。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1211	科学と技術	2	講義	科学と技術を多角的な視点で捉え、理系学生にも文系学生にも科学と技術がいかに現代社会にかかわっているかを理解し、広い視野を持てるように涵養することを目的とする。							○		○		○					○	○		
現代教養科目	学際科目			LAD0000	<各科目>	1~2	-								○		○		○					○	○		
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1101	情報学総論	2	講	「情報学」って何？情報学部ではどんなことを勉強するの？この講義はこれらの疑問に答えることが目的である。すなわち、皆さんがこれから学んでいく「情報学」とは何かについて、4人の教員が分担して授業を展開していく。情報学の内容と範囲は幅広い。この講義によって皆さんは情報学という言葉が表す内容についてイメージすることができるようになる。また、自分がこれから大学で積極的に学ぶべき内容や、将来のキャリアについて考えるための基礎知識を身につけることができる。	◎	◎	◎									○				◎		◎	
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1102	コンピュータ入門	2	講	計算機一般に関する基礎概念を身につける。計算機システムの基本構成をハードウェア・ソフトウェアの両面から説明できるようになる。特に、この科目と並行して開講される「コンピュータシステム演習」で実習する計算機操作に関して、前もって理解しておくべき概念的背景を身につける。さらに、各人が購入したパーソナルコンピュータを、情報学部生としての活動に利用することができるようになる。情報学に関するいくつかの最新トピックに関する知識を身につける。	◎	△	△					○								◎		◎	
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1103	プログラミング	3	講・演	学生が以下の力を身につけることを目標とする 1) 他者のソースコードを参照できる基礎能力を身につける。 2) プログラムが意図通りに稼働しない場合、問題特定・修正ができる。 3) 身近な課題を解決でき、プログラミングも活用できるといふ成功体験をもつ。 4) 自らプログラミング言語を必要に応じて学んでいく力をつける。	○	△	△										◎	○		○		◎	
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1104	コンピュータシステム演習	1	演	基本的な情報リテラシーおよびコンピュータ活用能力の教育を担うことが本科目の目的である。コンピュータ入門と連携をとり、コンピュータ入門で講義されたコンピュータの理論的な仕組みや原理を、本演習にて実際にPC上で確認することにより、受講生の理解を深めさせる。具体的には、情報学部で学習するためのPCの基本設定を自分自身で行うこと、以降の学習の基礎となるタイピングスキルを身につけること、プログラミングの前段階となる初歩的なマークアップ言語(HTML)を習得することができるようになる。											○	○		◎			○	◎	
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1105	日本語表現法	2	講	情報発信およびプレゼンテーションを行う上で日本語表現法は不可欠なスキルである。本授業によって、レポート、論文等の文章作成に有効な日本語表現法に焦点を絞り、読解のない文章を構成するスキル、論理的文章の書き方等について理解できるようになる。概説および演習を通して、文章表現に必要な論理的思考力を身につけ、事柄をわかりやすく正確かつ的確に伝える文章表現力を習得することを目標とする。									△	○	○		△	◎			○	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1106	学習マネジメント	2	演	この授業は学び方を学ぶ授業です。自分の学習スタイルを診断し、学習方略を最適化する考え方を理解することで、自分を取り巻く学習環境を自らうまくデザインし、マネージする力を身につけます。									△	○	◎						◎			
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1107	コミュニケーションスキルズⅠ	1	演	In this class, students will improve their communication accuracy and be able to respond to simple questions in English. They will be able to express their opinions about simple topics. They will be able to ask clarification questions and request repetitions when input is not understood. They will learn to continue a discussion.					◎		○										◎		○	
専門科目	学部共通科目	2年次	必修	INCM2101	情報倫理と法	2	講	現代社会においては、情報の生産・流通・利活用を規律する法律・政策のメカニズムを理解し、特に知的財産、通信と放送、表現活動等に関する法制度と情報倫理の基礎を身につける。									◎		○						◎	○		
専門科目	学部共通科目	2年次	必修	INCM2102	情報学方法論	1	講	この授業は各学科ごとに企画・運営される。それぞれの専門領域における情報学のスコープのもと、多様な研究方法や研究テーマ、課題等について紹介・入門的な講義を行うことを通じて、3年次以降のより専門的な学習・研究へとつなげていくことができるようになる。			◎							○	○	○				◎		○		
専門科目	学部共通科目	3年次	選択	INCM3304	情報学特別講義Ⅰ	2	講	「情報学特別講義Ⅰ」は、情報学部において開設されるさまざまな科目のうち、学部共通科目として、世の中の実践的な事例をとおして、情報学そのものについての学習を深めるための科目である。「情報学特別講義Ⅰ」では、企業、行政、メディアなど、特に地域情報化の現場で活躍している方を講師として招き、最新の状態での講義について紹介することができる。受講生はこれらの講義を知り、情報社会の課題を知り、それに応えるためには何が必要かを考えるとともに、今後どのような形で情報学を深めていくべきか理解を深めることができる。								△		△	○	◎	○					○	◎	○
専門科目	学部共通科目	3年次	選択	INCM3305	情報学特別講義Ⅱ	2	講	情報システム活用の先進的事例や情報システムの企画・開発・運用に永年携わってきた方々の経験などを通じて、情報学部において展開されている理論的な観点からの理解に対し、実践的な観点を知ることを目指す。			◎										○	○		◎		○	○	
専門科目	学部共通科目	4年次	選択	INCM4301	情報学特別講義Ⅲ	2	講	計算機科学の分野における先進的な研究・開発の具体的な事例紹介を通じ、情報学部で学ぶ授業の総括をはかり、大学で学んだことが社会でどのように生かされているかを知る。	◎									○	○				◎		○			
専門科目	英語科目	1年次	選択	INEL1301	リーディングスキルズⅠ	1	演	基礎的な語彙・文法力を身につけ、平易な英文のトピック、パラグラフ展開、書き手の主旨を正確に把握でき、かつ、構文を正しく理解する読解力を身につける。					◎												◎			
専門科目	英語科目	1年次	選択	INEL1302	ライティングスキルズⅠ	1	演	短文の和文英訳を基礎とした基本構文の理解から始め、トピックセンテンス、支持文、結論、トピックの一貫性など、パラグラフ構成の基本事項を身につけた上で、関心を抱く話題や日常的な話題についての意見などを1パラグラフにまとめるライティングスキルズを身につける。			○	○	◎											○	◎			
専門科目	英語科目	2年次	選択	INEL2301	コミュニケーションスキルズⅡ	1	演	In this class, students will improve their communication accuracy and be able to respond to various questions in English. They will be able to express their opinions about many topics. They will be able to ask clarification questions and request repetitions when input is not understood. They will learn to continue a discussion.						◎		○									◎		○	
専門科目	英語科目	2年次	選択	INEL2302	リーディングスキルズⅡ	1	演	長文を正確かつ効率的に読むための英語力と技法(パラグラフリーディング)を身につける。アカデミックな文章の基本構造を理解し、その構造の中で各文や段落がどのような役割を担っているか考えながら、必要な情報を的確に収集する習慣をつける。						◎											◎			
専門科目	英語科目	2年次	選択	INEL2303	ライティングスキルズⅡ	1	演	英文を書く上で重要な文法事項を学習し、正確な英文を書く力を身につける。また、パラグラフライティングに関わる文段・段落間のつながりに関する談話の文法を学習し、英語の文章を書く力を身につける。						◎											◎			
専門科目	英語科目	3年次	選択	INEL3301	リーディングスキルズⅢ	1	演	長文を正確かつ効率的に読むための読解力と技法(パラグラフリーディング)を身につける。アカデミックな文章(あるいは、社会現象や自然現象を理論的・実証的に論じる長文全般)で頻繁に用いられるパラグラフのパターンを理解することにより、各パラグラフの主旨を素早く正確に読み取る力を身につける。				○	◎					○							◎	○		
専門科目	英語科目	3年次	選択	INEL3302	コミュニケーションスキルズⅢ	1	演	この授業は以下の項目を身につける。(1)各自で選択したアカデミックなトピックについて、内容のあるプレゼンテーションを行うことができるようになる。(2)詩的なトピックおよびアカデミックなトピックについて、知識に裏付けられた意見を述べ、よく考えたい質問をすることができるようになる。(3)英語で行われるアカデミックな講義を聞き、理解し、それについてディスカッションをすることができるようになる。						◎		○									◎			
専門科目	英語科目	3年次	選択	INEL3303	ライティングスキルズⅢ-1	1	演	序論、本論、結論の構成を持ち、説得力のある英語の文章を書き、自分の英文をみずから点検できるようになる。						◎											◎			
専門科目	英語科目	4年次	選択	INEL4301	ライティングスキルズⅢ-2	1	演	序論、本論、結論の構成を持ち、説得力のある英語の文章を書き、自分の英文をみずから点検できるようになる。						◎											◎			
専門科目	英語科目	4年次	選択	INEL4302	ライティングスキルズⅢ-3	1	演	序論、本論、結論の構成を持ち、説得力のある英語の文章を書き、自分の英文をみずから点検できるようになる。						◎											◎			
専門科目	情報社会学科	1年次	必修	INS11101	情報社会概論	2	講	学科全体の導入となる科目であり、情報社会について基礎的な理解と、各系の科目へと学習を進めていくための様々な視点・思考力を獲得する			◎				○	○								◎	○			
専門科目	情報社会学科	1年次	必修	INS11102	コミュニケーション論	2	講	「言語」「文化」「コミュニケーション」といった概念が、情報を扱う生物としての人間の社会形成にとってどのように関わっているかと見なされるようになってきたかを、学説史を踏まえて概観する。これによって、情報社会を学ぶための現代的な学問的視座を得る。				◎	○		○									◎	○			
専門科目	情報社会学科	1年次	必修	INS11103	統計学入門	2	講	統計理論に基づくデータ解析は、農学・工学・理学等の理系の分野はもとより、心理学・経済学・社会学等の文科系の分野でも予測・評価・管理等の目的で広く利用されている。本講義の目的はデータ解析の場面で利用される基本的な統計的手法についての知識・技能を身につけることである。講義では、得られたデータを解析・整理・要約するための記述統計学、その解析結果から母集団における状況を推測するための推測統計学について、その基礎的な内容を具体例に基づいて解説する。なお、パソコン(R、エクセル)を利用した簡単な演習も行う。			○									◎					○		◎	
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INS11301	基礎数学Ⅰ	2	講	「文系の学生」に対する基礎的な数学教育を目的とし、具体例を多く取り入れ、数式の意味を理解しながら学習できるよう配慮している。社会科学全般における情報の分析に必要な数学的な素養を身につけることを目標とする。			◎													◎				

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4				
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1303	メディア・リテラシー I	2	講	メディアが発信する情報を分析的に読み解く能力とともに、メディアを道具として活用し、情報メディア社会に主体的に参画していただくための情報発信能力を体験的活動を通じて習得する。そのために1. 環境や年代によるメディア体験(受容)・情報行動のあり方の意識化 2. ワークショップという協同学習をファシリテートする能力の育成 3. メディアが現実を再構成するための基本的技法を知ること 4. 制作実習を通じてメッセージを効果的に伝える技法を学び、かつメディアの作られ方がメッセージの伝達に与える影響を理解する。以上4点を習得できるようにする。							○		◎			○				○	◎	○				
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1304	コミュニケーション・メディア史 I	2	講	印刷書籍の誕生から、新聞、映画、ラジオ、テレビといったマスメディアの発展を通時的に概観することを通じて、マスメディアが近代国民国家という「想像の共同体」や「市民」というアイデンティティの形成に及ぼした影響や、メディアイベントなど動員装置としてのその役割を考察・検討し、現代のメディアの構造と機能について理解を深める。									◎	○		○					◎	○				
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1305	社会調査論	2	講	社会科学としての社会調査の目的、意義、種類、方法、歴史に関する基本的な知識を身につける。さらに、実際の調査例(量的調査と質的調査)を詳細に学びながら、社会調査を実施する上でのモラルやトラブルに関する理解を深める。								○	◎	○						○	◎					
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1306	基礎数学 II	2	講	基礎数学は、「文系の学生」に対する数学教育を目的とするものである。そのため、基礎的な内容を、広い範囲に渡って学習することとし、具体的な社会事象や身近な例も取り上げ、数式の展開のみによる講義とならないよう配慮して行われる。情報社会学科における習得が必要な数学的な素養を身につけることを目標とする。			○							○	◎					○	◎					
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1307	情報と心理	2	講	・情報システムと人間心理をつなぐ基礎的な知識を身につける ・情報学の諸分野(情報技術、行動情報、情報社会)を人間心理からとらえる観点を取得する			◎								○	○			◎		○					
専門科目	情報社会学科	2年次	必修	INSI2101	社会調査法	2	講	本講義では、社会調査の代表的な手法である、量的調査法と質的調査法を学ぶことを通じて、社会調査の基本的な技法やマナーを習得する。受講生は、グループワークを通して、主体的に社会調査の設計と実践に取り組み、集計、発表、報告書執筆などで調査の一連のプロセスを経験し、スキルを身につける。							△	○	◎	△	△		○			○	◎	○				
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2201	情報・ネットワーク経済と競争	2	講	現在のさまざまな経済活動において、情報・ネットワークがどのような影響を与えているのかについて理解できるようにする。		○	◎									○			◎	○	○	○				
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2202	電子メディア論	2	講	電子メディア——現時点ではインターネットとして知られるそれは、突然変異的に現れたわけではなく、人類の歴史の中で生まれてきたさまざまなメディア、そして思想による醸造を経て「かたちになった」、ある意味では必然的に登場したメディアである。本講義を通して、メディアとしてのインターネットの特質について理解できるようにする。その上で、インターネットが現代社会と人間に及ぼす影響について、具体的な事例を取り上げつつさまざまな側面から学び、理解を深めていく。									△			○	◎	△		○	○	◎				
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2203	パブリック・ガバナンス論	2	講	現代社会・コミュニティの諸課題に対し、その背景・構造に関する基礎知識を獲得するとともに、情報ネットワーク化する社会の特質をも踏まえた課題解決に向けての提案力を身につける。												○	◎	○			○	◎				
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2204	都市デザイン論	2	講	1. 都市に特徴的な諸問題とその相互関係について自ら考えることができる。 2. コンパクトシティ等の都市モデルについて多角的に理解することができる。 3. 郊外化の現状や経済・社会的背景、情報化の影響などを踏まえて、今後の都市デザインに必要なことを検討することができる。								△		△	◎	◎	○				◎	○				
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2205	情報社会思想	2	講	情報社会を深くつかの重要な思想についてその背景や影響も含めて理解する。また、こうした思想について情報社会の現状や未来を見据えつつ批判的に再検討・評価することで、情報社会の人間の倫理的なりデザインに参加する態度と力を身につける。			△				△	○			◎	△	△			○	◎					
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2206	メディア・スタディーズ	2	講	① 情報メディア社会における情報の生産・流通・消費・再生産のあり方についてクリティカルに考えることができる ② 情報メディア社会における情報行動が個人や共同体の意思決定・価値判断等どのような影響を与えるかを考えることができる ③ 情報メディア社会が抱える諸課題を実証的に考察・分析するための理論・方法論・分析技法を身につける。			△								◎	○	○				◎	○				
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2207	メディア・スタディーズ演習	1	演	複数の教員が提示する多彩なメディア現象についての具体的な事例をくわしく検証していくことにより、メディアの社会的・文化的役割について理解を深めるとともに、メディアに関連する社会的・文化的・思想的問題の広範さと、メディアに対する多様なアプローチや方法論を身につける。											◎	○	○				◎	○				
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2208	コミュニティ・デザイン論	2	講	コミュニティは共同体とも訳されるように、人間集団や社会・文化の成立、歴史と深く関わる概念である。授業では、情報化が進む現在、コミュニティなる語が「使用され」、その構想(デザイン)に改めて注目が集まる理由や背景を、情報社会に至る社会形成の歴史的流れ、社会科学のコミュニティの理論や方法を踏まえて学ぶことができる。また、コミュニティデザインに必要なコミュニティの実態分析や現場調査の方法について、コミュニティを原理的に考える上で重要なかつ身近な、しかし「遠い」存在にもなっている対象や場(災害、家族、地域社会、祭り、市民協働、NPO、職場)の具体例を通して、考えることができる。これらに基づき、日常漠然と使用する「コミュニティ」や自らの「コミュニティ」活動を意識化・相対化し、情報社会でコミュニティをデザインするための観点や方法を学び身につけることができる。			△	△		△	△		△	△				◎	○	△	△			○	◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選必	INSI2209	コミュニティ・デザイン論演習	1	演	コミュニティは共同体とも訳されるように、人間集団や社会・文化の成立、歴史と深く関わる概念である。授業では、情報化が進む現在、コミュニティなる語が「使用され」、その構想(デザイン)に改めて注目が集まる理由や背景を、情報社会に至る社会形成の歴史的流れ、社会科学のコミュニティの理論や方法を踏まえて学ぶことができる。また、コミュニティデザインに必要なコミュニティの実態分析や現場調査の方法について、コミュニティを原理的に考える上で重要なかつ身近な、しかし「遠い」存在にもなっている対象や場(災害、家族、地域社会、祭り、市民協働、NPO、職場)の具体例を通して、考えることができる。これらに基づき、日常漠然と使用する「コミュニティ」や自らの「コミュニティ」活動を意識化・相対化し、情報社会でコミュニティをデザインするための観点や方法を学び身につけることができる。			△	△		△	△		△	△			◎	○	△	△			○	◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2301	グローバル化と文化	2	講	諸外国に対する国際理解・異文化理解を通じて、世界の多様な文化とグローバル化の姿を学ぶことで、国際社会の中での自文化のアイデンティティ、ひいては個としてのアイデンティティについて認識を深める。				◎												◎						
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2302	ジェンダー論	2	講	本講義では、現代社会を考えるにあたって必須の課題、男女平等(ジェンダー平等、ジェンダーエークイティ)をすすめるために必要な社会認識及びそのための方法論(ジェンダー論)を学ぶことができる。ジェンダーの観点から、メディア、学校、職場、家族などさまざまな領域を分析し、男女平等とは何か、男女平等の社会とはどのような社会か、またその実現のためには何か必要なかを考えていく。受講生は、本講義を通し、「ジェンダー」の視点から考えることを学ぶことができるとともに、この観点からの社会システム構築やコミュニティデザインを学ぶことができる。			△					○			△	◎	○	△			○	◎				

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2303	言語コミュニケーション論	2	講	言語コミュニケーションを中心に、記号的コミュニケーションの分析的理論を学ぶことで、コミュニケーションデザインのための基礎を獲得する。特に自然言語の特性とその使用に焦点を当て、自然言語がどのような特性を持つ体系であるのか、また、我々は自然言語をコミュニケーションにおいてどのように利用しているのかといった事柄について理解を深めることを目標とする。			○						○	◎				○		◎			
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2304	情報管理社会論	2	講	思想・文化的、社会・制度的、科学・技術的側面から、現実の都市空間からネット空間にまで及ぶ「情報管理社会」を総合的に捉え、それに対する自分なりの問題意識、的確な批判力を持てるようにする。										○	◎	○				◎	◎	○	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2305	応用プログラミング	2	講	プログラミングの基礎となる参照渡し(ポインタ)の概念とそれを用いた動的なデータ構造(オブジェクト)、およびそれを取り扱う再帰アルゴリズムを理解し、演習によりプログラミング技法を習得する。	△										○		◎	○				◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2306	多変量データ解析	2	講	各個体や対象に対して、複数の特性について観測されたデータに基づき、各変数間の相互関連性を分析するための手法は多変量解析手法とよばれる。多変量解析法はあらゆる分野で広く用いられている手法で、本講義はその入門と位置づけられる。統計学的理論と実データへの適用例との両側面から各手法を解説し、演習を多く取り入れることで、多変量解析法の基本的な考え方と実践の技能を身につける。			○									◎			○		◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2308	データベース論	2	講	実効のある情報システムの構築には、そこで扱う情報を効率よく、かつ効果的に管理する仕組みであるデータベースが不可欠である。この授業では、データベースの原理、その設計手法とその基礎をなす理論、そしてデータベースを実現するための技術について理解し、適切な例を用いて説明できるようになることを目標とする。		○											◎		○	○			◎
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2309	統治システム論	2	講	1.様々な形態の統治の基本知識を習得する 2.コーポレート・ガバナンスについて特に深く理解する 3.現代の情報社会における統治の見方を身につける			◎	○			△	○								◎	○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2310	メディア・リテラシー II	2	講	コミュニケーションの特徴を情報技術を用いて可視的なものにし、コミュニケーションへの理解を深め、その活性化を促す仕組みを築く力を身につける。また、そのような作業を通じて、自らのコミュニケーションを違い、必要な情報技術を身につけていく。情報技術の活用がコミュニケーションの活性化をどのように導くか、また、コミュニケーション活性化のための考察が情報技術の発展をどのように促すか、といったことを考える力を身につけると同時に、コミュニケーション実践力を身につける。			◎													◎		○	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2311	先端情報学実習 I -a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の果敢たる推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通じて、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																	○	◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2312	グローバリゼーションと社会	2	講	「グローバリゼーション」という言葉がすでに10数年飛び交っている。と同時に、「反」グローバリゼーションの言説を装った排外主義が日本をはじめ米国や欧州で拡大している。本講義の目的は、グローバリゼーションを歴史学的に検討することによって、日本社会における「グローバリゼーション」の言説状況を理解し批判的に検討する視点を獲得し、排外主義が生まれる「南部のフレンマ」と呼ばれる現状を理解したい。																			
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2313	Webデザイン論	2	講	新しい情報メディアの出現が我々に何をもちたか理解して、情報メディアの新しい利用形態と情報表現の様々な手法を身につける。そのために、Webデザインを通して、さまざまなメディアの特性を実感・理解し、マルチメディア情報の収集・編集・発信・評価を理解・取得する。			○									○		◎		○		○	◎
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2314	社会モデル	2	講	社会や経済を分析するためにさまざまなモデルが使われていることを知り、それらのモデルの意味を理解、活用できるようになる。											○	◎	○					◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2315	情報職業論	2	講	コンピュータとネットワークによる社会の情報化が、情報職業を量的に拡大させ、質的に変化させてきた。狭義の情報職業(情報サービス従事者)の問題に限らず、情報と職業構造の問題を通時的・共時的に理解することで、情報職業に就いたときの精神的バックボーンを形成できるようにする。		△	○						○		◎		△			○	○	◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2316	美術とメディア	2	講	美術史研究の基本的な目的である美術作品の様式を理解するとともに、このようなヴィジュアルな表現の解釈法を身につける。			○								○	◎				○		◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2317	考古資料論	2	講	考古学は、過去の人類の諸活動の証拠となる遺跡や遺物を検証することで、過去の人々の生活や文化などを考察するとともに、現代生活の意味も問う学問である。この講義では、静岡県内の遺跡及び遺物を時代別にとりあげ、資料活用の可能性を検討しつつ、考古学資料からみた静岡県の特性を理解する。																		◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2318	環境・地理情報システム論	2	講	地理情報システム(GIS)とは、地図を共通基盤として、地域のデータを表示したり、編集したり、分析したりすることのできるシステムである。本授業では、地理情報システムのフリーソフトであるQGISを用いて、講義とともに実習を行い、QGISの基本操作を習得する。さらに作成された地図をどのように活用していくのか、実習を行っていく過程で説明できるようにする。													◎						◎
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2319	コミュニケーション・メディア史 II	2	講	「コミュニケーション・メディアの歴史を学ぶには、通史的な理解が不可欠である。本授業は、「コミュニケーション・メディア史 I」を受けて、日本という固有の文脈における古代からのコミュニケーション・メディアの発展について理解できるようにする。比較メディア論の視点は不可欠なので、外国の状況も逐次参照する。			○	△			△				◎	○				○		◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2320	ネット文化産業論	2	講	インターネットの普及やデジタル技術の発展を背景に享受されている現代の文化の特性や特有の問題に着目し、デジタル・コンテンツへの理解を深めるとともに、その生産・流通・消費・保護などの過程を分析・考察する力を身につける。			○						△				◎	△		○		○	◎
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2321	先端情報学実習 I -b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の果敢たる推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通じて、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																	○	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2322	コミュニティ・メディア実習	2	実	この実習では、社会や地域などの課題に対して、社会調査を通して理解し、自らの問題意識に基づいて情報を構成し、社会に対して情報発信していくための知識と技術を習得しながら、情報の発信者としての視点や素養を実践的に学ぶ。実際に、社会や地域などと関わりを持ちながら、インタビューの撮影と分析および編集といった実習を行う。実習を通して、メッセージを込めたメディア作品制作することで、社会や地域におけるメディアの役割について理解し、メディアを有効に活用できるようになる。							○		△	△	○		◎			○	○	◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2323	民俗資料論	2	講	民俗学は過去から現代に生きた人々の衣食住などの生活、祭礼や信仰、行事や習慣などの変遷を明らかにする学問である。民俗に関する諸資料から過去の人々の考え方を検証し、資料の活用の可能性を検討するとともに、地域コミュニティに民俗文化がどのような役割を果たしているかについて考察できるようになる。											◎						◎			
専門科目	情報社会学科	3年次	必修	INSI3101	情報学方法論演習	2	演	情報学の基礎的な学習から次第に専門的な領域に踏み入り、さらに卒業研究へと展開、発展させる階梯におかれた特別な授業である。この授業は、各学科毎に開講され、学科担当教員の個性的で専門的な情報学の紹介・入門的な授業を受けることで、情報学の専門的深さと多様さ・広がりを知る。			○								◎	○				○		◎		
専門科目	情報社会学科	3年次	必修	INSI3102	情報社会学演習	1	演	少人数による研究指導型の演習を通じて、情報学における特定の領域を深く分析することができるようになる。						△					◎	○						◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選必	INSI3201	ジャーナリズム論	2	講	本講義は、近代社会の営みとしてのジャーナリズム現象の実態と、その果たしている役割について総合的な理解を深め、履修者がそれぞれ自分なりのジャーナリズム概念を構築することを目標とする。ジャーナリストを養成するための授業ではないが、学習の結果として自らをジャーナリストたらしめる可能性は否定しない。				◎					△		○		○	△		◎		○	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選必	INSI3202	異文化コミュニケーション論	2	講	この授業では、文化とは何か、異文化間の価値観の違い、コミュニケーションのメカニズム、文化によるコミュニケーションスタイルの違いなどに対する理解を深める。また、異文化間のコミュニケーション活動をよりスムーズに行うための、実践力を養う。			○				◎	○								○	◎			
専門科目	情報社会学科	3年次	選必	INSI3203	メディア文化論	2	講	メディアと文化現象(社会)の関係の多様性・多元性を理解することを目的とする。授業はワークショップ形式など、履修者の参加を前提とする。担当教員が個々の専門分野に応じたメディアやコンテンツ(例えば、さまざまな時代や地域で制作された広告、映画、ドキュメンタリー、音楽、雑誌、ウェブサイトなどを分析の対象とし、それらが制作・発表された当時の社会、経済、文化をどのように反映し、またそれらにどのような影響を与えたのかを考察していく。			○							△		◎		○	△		○		◎	○
専門科目	情報社会学科	3年次	選必	INSI3204	メディア文化論演習	1	演	「メディア文化論」の内容をふまえて、学生個々人の社会に対する関心を抽出し、それにもとづいて制作および研究を行う。その際、ターゲット、社会の動向、世論、潜在的なニーズなどを読み解き、分析したうえで、ドレーパー、ホステター、音声情報(ラジオ番組)、記事、ウェブサイト、フリーペーパー、パンフレット等の制作に携わり、メディア制作を通して主体的に社会に参画する意識が養える。				△						△				○	○	◎				◎
専門科目	情報社会学科	3年次	選必	INSI3205	都市・地域政策論	2	講	都市デザイン分野のうち、情報社会の活動舞台としての都市・地域を扱う。都市地域政策について、問題発見し考察する調査・分析能力と、それに基づき解決策を考案する思考力を身に付ける												◎	○					◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選必	INSI3206	都市・地域政策論演習	1	演	都市デザイン分野のうち、情報社会の活動舞台としての都市・地域を扱う。都市地域政策について、問題発見し考察する調査・分析能力と、それに基づき解決策を考案する思考力を身に付ける												○	◎					◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3301	先端情報学実習Ⅱ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学における文工融合型情報学研究の効率的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。													○	◎				○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3302	公共圏論	2	講	公共圏についての基礎的な考え方を理解し、その問題点や可能性を考察することで、情報社会について批判的に思考する力を養うことを目的とする。また、コミュニティ、メディア、コミュニケーション、カパナンス、グローバリゼーションといった他科目の学習内容を結びつけ総合的な理解を得ることを目指す。								○	◎							○	◎			
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3303	コミュニティ発展論	2	講	地域社会が直面する様々な課題や問題を、戦後の地域開発政策や社会経済的な変化のなかに位置付けて理解し、地域発展のあるべき姿を思考する能力を身に付けることを目標とする。				◎								○	○				◎		○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3304	家族福祉政策論	2	講	本講義を通じ、受講生は「福祉」概念を深く理解したうえで、生活者の視点からコミュニティをデザインをしていくために必要な視角と諸知識を得ることができる。本講義で扱う「福祉」は、人々を幸福にするための制度・政策・実践などを意味する極めて広義の概念であり、いわば共生社会を作り上げていくための全ての実践を意味する。受講者は授業を通じ、現在の日本の福祉制度・福祉政策の概要を学ぶことができるとともに、福祉にかかわる現代的諸課題を自ら読み解き、分析する力をつけることができる。				△					△	△	△	◎		○	○				◎	○
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3305	情報産業論	2	講	情報産業の構造、特質を把握し、これから求められる政策やビジネスモデルについて考えられるようになる。				◎									○	◎				○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3306	フィールドリサーチ	2	実	受講生は本講義を通じ、「社会調査法」等で学んだ諸技法を活かし、調査を企画・実施できる力を身につけることができる。また本講義では、さまざまな分野で活躍している人々へのインタビューや質問紙調査などを行うため、インタビューのスキルや調査票作成のスキルを磨くことができるとともに、人々の意識についての深い洞察力とともに、調査対象者(協力者)に対する共感性を磨くことができる。またデータの集計やデータベースの作成のスキルを身につけ、調査結果をプレゼンテーションしたり、報告書を執筆するなど、総合的な調査力を身につけることができる。				△					△	○	◎	○	△	△	△			○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3307	情報セキュリティ	2	講	情報セキュリティを、技術的側面(暗号をはじめとするセキュリティ要素技術)と人間的側面(情報倫理や情報法という広義の情報モラル)の両側面から学ぶことを目的とする。	◎		◎							○						◎		○		
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3308	金融システム論	2	講	銀行業、証券業、国際金融、地域金融などの金融システムの現状と、最近の変化や課題を学び、情報技術の有効活用を中心とした課題解決策について、具体的に提案できるようにする。												◎	○	○				◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3309	プロジェクトマネジメント	2	講	目標や課題解決のためのプロジェクト立案方法、スコープ、スケジュール、コストを考慮したプロジェクト計画策定方法、プロジェクト実施時の進捗や品質に関するマネジメントの方法について、講義と演習を併用して身につける。																	○	◎	◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3310	経営のしくみ	2	講	情報システムが適用対象とする企業の経営がどのような構成要素から成立しており、それらの構成要素がどのように関係しあっているかがダイナミックに展開されるかを理解する。		◎							○					○	◎		○	○		
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3311	先端情報学実習Ⅱ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。											○	◎		○			○	◎		
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3312	サイバーテックノ思想論	2	講	監視、セキュリティ、人工知能などサイバーテックノ思想の諸問題に関し、3年前期までの専門科目で修得した知識を再整理するとともに、情報科学科教員による講義という学際的経験により深く問い直してもらう。さらに、映画の視聴や討論への参加など多面的な経験を通じて、サイバーテックノ思想に関する先鋭的な知識を身につける。	△		△					○				◎		○			○	◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3313	地域情報マネジメント	2	講	地域の情報を収集、分析、活用するための手法を理解し、実践できる能力を身に付けることを目標とする。												◎	○	○				◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3314	コミュニティ・地域再生論	2	講	本講義においては、浜松市における、住民組織や行政、企業、NPOといった地域における様々なアクターと連携し、情報技術の活用やアクションリサーチなどの手法を学ぶことによって、地域やコミュニティの抱える課題についての問題解決力を身につけることができる。受講生は、本講義を通して、新しいコミュニティ・地域社会をデザインするための政策立案能力と実践力を養うことができる。			△				△	△	△	△	△	○	○	△	◎				○	◎
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3315	自治体行政論	2	講	本講義をとおし、受講生は、行政組織の構造や行政組織が今日おかれた状況等を学び、都市自治システムに関する一般的、総合的な理論(NPM理論やガバナンス論などの行政理論を含む)を学ぶことができる。そのうえで、具体的な行政施策等と合わせて今日の行政課題を考え、行政職員へのキャリアについての支援を受けることができる。			△				△	△	△	△	◎	○	○					◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3316	アーカイブ管理論	2	講	アーカイブの基礎的な知識を身につけることを目指す。具体的には以下の点ができるようになっていることである。 (1)アーカイブの役割について説明できる (2)アーカイブを取り扱うための基礎的な知識を得ている (3)記録保存の問題に関心を持つようになっている			◎												◎			○	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3317	ビジネス計画論	2	講	ビジネスの計画立案に関する基礎的な考え方を学ぶ。ビジネスの計画立案にあたっては、「どのような市場に参入するか」といった大きな視点から「どのように事業を計画するか」といった具体的な視点まで、さまざまな視点が必要となる。この授業では、これらの概略が把握できることを目標とする。																		○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3318	シミュレーション	2	講	情報系及び物理系のシミュレーションの基礎を学び、モデル化、シミュレーション手法、計算資源の最適配分、シミュレーションの実際などシミュレーションをするための専門的知識を身につける。															○			○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3319	インターンシップ-A	2	実	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀・約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない。採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。														◎					○	◎
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3320	インターンシップ-B	1	実	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀・約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない。採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。														◎						◎
専門科目	情報社会学科	4年次	必修	INSI4101	卒業研究	6	演	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身につける。			△				△	△	○	◎	△	△	○					◎	○	
専門科目	情報社会学科	4年次	必修	INSI4102	ABP 卒業研究	3	演	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身につける。			△				△	△	○	◎	△	△	○					◎	○	
専門科目	情報社会学科	4年次	選択	INSI4301	先端情報学実習Ⅲ-a	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																		○	◎	
専門科目	情報社会学科	4年次	選択	INSI4302	先端情報学実習Ⅲ-b	2	実	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究が学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																		○	◎	